

〔 横浜市大倉山記念館 〕

令和 2 年度業務報告及び収支決算

〔 日比谷花壇・西田装美共同事業体 〕

- ※ 文中の事業欄において、
 ●：主催事業 ○：共催事業を示します。
- ※ 文中の達成指標欄において、
 □：定量的指標 ■：定性的指標を示します。
- ※ 文中の【継続・発展】事業における下線は、
 平成 30 年度から追加となった内容を示
 します。

1 施設の概要

施 設 名	横浜市大倉山記念館
所 在 地	横浜市港北区大倉山二丁目 10 番 1 号 大倉山公園内
構造・規模	鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階、塔屋 1 階
敷地・延床面積	延床面積 1,877.23 ㎡(大倉山記念館部分) 管理区域面積：4,073 ㎡
開 館 日	昭和 59 年 10 月(昭和 7 年建設)

2 指定管理者

団 体 名	日比谷花壇・西田装美共同事業体
所 在 地	東京都千代田区内幸町一丁目 1 番 1 号
代 表 者	代表者氏名 株式会社日比谷花壇 代表取締役 宮島 浩彰
代表者設立年月日	昭和 25 年 12 月 6 日
指 定 期 間	平成 28 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

3 指定管理に係る業務方針

(1) 基本的な方針

【指定管理期間中の運営理念】

大倉山記念館の文化拠点機能を最大限発揮して、
 区民・市民の主体的な活動の促進・コミュニティの形成につなげ、
 「自然と文化とともに暮らす街 大倉山」を実現させるとともに、
 市の「文化芸術創造都市のまちづくり」の推進に貢献します。

【管理運営を行うにあたっての基本方針】

- ①平等公平な対応・人権の尊重・積極的な情報の公開・発信を原則とします
- ②既存の事業は継続・発展を基本とし、利用者とともに、より良い活動を目指していきます
- ③市民の自主・自発的な活動を尊重し、市民と私たちが両輪となり、活動を支援します
- ④私たち自ら地域に出ていき、文化芸術を通じて、地域課題に協働して取り組みます

- ⑤世代や社会属性を超えたあらゆる方々に文化芸術に触れる機会を提供します
- ⑥施設の維持管理はもちろん、施設とその周辺地域の歴史的・文化的価値や魅力を十分理解し、広く伝えて、みんなが誇りとし、愛される市の財産を後世に伝えます
- ⑦伝統を守りつつ、施設や地域の新しい魅力を創造し発信することで、大倉山ブランドの発展と拡大を図ります
- ⑧私たちが培ってきたノウハウと実績、ネットワークを最大限活かし、地域住民や施設と一体となり、強い愛情と熱意を持って大倉山記念館と地域の発展に貢献します
- ⑨地域の文化芸術振興とともに、市内の文化施設等とネットワークを結び、相乗効果を促進します
- ⑩人々が集い、交流し、市民や観光客に愛される「活気とうるおいにあふれ、文化が日常に息づくまち」を目指します

【目指す姿《ビジョン》】

- ①文化芸術に参加することで、心と体の健康が両立し、シニアパワーが発揮される拠点
- ②子どもたちが互いを尊重し、それぞれの創造性を最大限に伸ばす拠点
- ③市民一人一人が主体的に自らの創造性を刺激し、伸ばし、発揮できる拠点
- ④多様な世代と価値観と文化が有機的につながる拠点
- ⑤文化芸術を通じて社会参加、自己実現ができる拠点
- ⑥地域とともに創る文化的コモンズのシンボル
- ⑦市民に愛され、育まれ、永く受け継がれていく施設

【果たす役割《ミッション》】

- ①シニア世代の多様なニーズや女性の自己実現や社会参加のニーズに対応した文化芸術事業を提案し、参加機会を創出
- ②子どもたちの創造性を刺激する文化芸術と触れ合い体験の提供および創作発表の場
- ③市民の自主・自発的な活動の支援、文化芸術の発展とまちづくりの協働推進
- ④地域住民と地元アーティストなどをつなぐ・文化施設同士をつなぐ文化ハブの機能
- ⑤文化芸術を通じた社会参加・自己実現の機会の支援・提供
- ⑥地域と一体的に芸術文化の振興を図り、情報を広く多様な手段で発信し、多様な場を開放
- ⑦広く施設の価値を普及し、サポーターを育成し、健全で自立的な保全と利用の促進

(2) 令和2年度の方針及び達成目標

【全体業務について】

指定管理期間の5年目となる今年度は、昨年度までの運営方法や事業内容を活かした運営を実施します。また、市の文化政策に賛同するとともに、私たちの「ノウハウや実績」と利用者や市民の「施設や地域への想い」を真摯に受け止め、新しい取り組みやサービスを展開します。今まで以上に利用者や市民が地域・文化に親しみ、コミュニティを活性化させ、地域の安全・安心、そして文化拠点となる施設の土台づくりを進めます。

① 事業について

地域の一員として、利用者や市民、大倉精神文化研究所をはじめとする地域の施設との交流を深

め、「地域の文化的コモンズのシンボル」として、いつでも・誰でも気軽に文化芸術に触れ合うことのできる事業を実施します。昨年度に引き続き、利用者の拡大と文化芸術への関心度を高めるための鑑賞・普及教育事業を中心に事業を実施します。

- ・地域の町内会や関係団体、施設、文化団体などとの関係維持
- ・今まで行ってきた事業は継続・発展を基本とし、関係者のご意見も伺いながら、より良い形への発展を模索
- ・「大倉山コーディネーター」として、日頃から文化芸術活動に関する情報を収集・発信
- ・ロビーのサークルラウンジでの交流を、昨年度に引き続き促進
- ・情報コーナーを設置し、地域や市の文化団体の活動をお知らせするチラシやパンフレットを配布し活動をPRするとともに、これから活動を始めたい方への情報提供を行う

② 運営について

市民・利用者の利便性と公平性を最優先に考え、利用者の声を聴き施設運営に反映することで、どなたにもわかりやすく、快適な施設利用を実現します。

- ・施設スタッフの雇用（継続・新規）
- ・新規雇用にあたっては、市民・女性・高齢者を積極的に登用
- ・運営開始前および運営開始後の計画的かつ定期的な各種研修の実施
- ・行政の代行者であるという自覚を持ち、平等公平な対応
- ・関連する各種法令や条例の遵守
- ・個人情報保護やコンプライアンスの遵守
- ・それぞれの利用者の立場に立った、ホスピタリティあふれる対応
- ・大倉山コンシェルジュによる、わかりやすい案内・情報発信
- ・ご意見箱の設置
- ・利用者アンケートの実施
- ・PDCAサイクルによる運営
- ・地域住民への配慮

③ 管理について

文化財維持管理の経験と実績を活かし、中長期的視点に立った予防保全と環境配慮による維持管理で、横浜市指定有形文化財である当施設の保全と、どなたにも安全・安心で、快適な空間を提供します。

- ・横浜市文化財保護条例及び施行規則の遵守
- ・ISO14001に沿った維持管理
- ・スタッフによる日常維持管理の徹底
- ・予防保全の実施
- ・中長期計画の立案
- ・大倉精神文化研究所と連携し、施設全体の良好な状態を維持
- ・横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）や市の担当部局との連携による施設の維持・管理
- ・私たちが管理運営する他の文化財施設との情報共有・交換
- ・ガイドツアーを実施し、市指定有形文化財としての価値と保存の必要性を訴求
- ・利用者や地域住民に対する安全・安心の確保

- ・植物のプロとして、「花によるにぎわい」を演出
- ・市の環境施策に賛同した維持管理

④ その他について

- (1) 「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策と緊急時対応体制の整備を実施します。
- (2) 市内中小企業への発注を優先し、地域経済の発展に貢献します。
- (3) 効果効率的な管理運営と創意工夫による安定した利用料収入の確保で、運営と経費の最適化を実現します。

4 業務の取組と達成指標

(1) 文化事業について

①文化芸術の鑑賞、創作活動の機会の提供及び地域コミュニティの形成・社会的包摂（ソーシャルインクルージョン）の推進

[取組内容]	[達成指標]	【実施内容】	[達成状況]
施設の特性を活かした事業や地域と一体となった事業展開	● 大倉山記念館オープンデ イー【継続・発展】 ■館内貸室を解放し見学い ただくことで、文化財価値の PRやご利用の促進をします。 また、共用スペースや集会室 を活用し ご利用をイメージし易くす るために、どなたも気軽に参 加できる各種講座・講習会を 開催します。 □年1回実施（11～12月） □WEBサイトやSNS等 での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満 足」と「満足」の合計4段階 中1・2番目の評価）：80% 以上	■記念館主催で、年2回（9/8、 2/9）「オープンデイ」の開催を 予定しておりましたが、「新型 コロナ感染予防」の観点から、 2月開催は見送り、9月の開催 のみ、規模を縮小し行いまし た。当日は全館を見学自由と し、設立当初の歴史資料を展示 しました。また、文化財である と同時に利用できる施設であ ることをPRするために、ボラ ンティアによる館内ツアーで 記念館の文化的価値、利用価値 などをお伝えいただきました。 昨年度も人気のあった、ご利用 者様のコンサートですが、今回 はコロナの影響もあり、4組の 方にお越し、事前に大倉山記 念館（ホール・集会室・大階段 等）で、大倉山在住のカメラマ ンの方に事前に撮影していた だいた動画をネットで配信い たしました。	オープンデイ ■計画変更実施。 □1回開催 □HP・FB・情報誌にて3件発 当日入場者数 220名

出張事業（アウトリーチ）を積極的に実施	●大倉山スタンプラリー【継続・発展】 ■市内イベント連動型事業として、観梅会もしくは桜まつり開催時に、当館を含む地域の名所を巡るスタンプラリーを実施します。 □実施：年1回以上 □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：1件以上 ●観梅会開催時の館内梅装飾【継続】（市内イベント連動型事業） ■植物のプロとして、多くの方が訪れる観梅会開催時に施設周辺や当館入口、館内を梅や春の花で装飾し、イベントを盛り上げます。 ■観梅会来場者を館内へ誘導し、来館促進を図ります。 □年1回実施（2～3月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □観梅会開催日の当館来館者数：300名以上 ○横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画【継続・発展】 ■横浜市芸術文化プラットフォームへ継続して参画します。 □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □学校プログラムの実施：年3校以上 ●地域施設への出張授業【継	新型コロナウイルス感染防止対策により中止となりました。 ■観梅会開催予定時期と連動し、館内正面玄関ならびに洗面所に、梅の枝や菜の花で春を表現したフラワーオブジェを設置し、来館促進に繋げました。 中止となった観梅会が行われたであろう日程には、来館者も多く、館内を定期巡回し、お手洗い、落し物他、各お問い合わせに対応しました。 本年は新型コロナウイルス感染症拡大防止の為、観梅会中止により例年より来館者は少なかったようです。 ■横浜市芸術文化教育プラットフォームへ参画し、出張声楽練習2件、体験プログラム1件を実施しました。 ・新田小学校（11/6実施） 河合陽子様による声楽講習 ・菊名小学校（12/9・14・16・22実施） 河合陽子様による声楽講習 ・綱島東小校（12/5日開催） もくもくハウス様木工作品 計6回実施	■計画未実施 ■計画実施 ■変更実施 □3校6日実施
---------------------	--	--	--

現在実施している事業の継続・発展を進める	続・発展】 ■坂の上の大倉山記念館までお越しいただくことが難しい方にも、文化芸術活動に触れる機会を提供するために、地域施設に出向き、歴史や文化、芸術を紹介する出張授業を行います。 □年1回実施（6月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：1件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●室内楽シリーズ【継続・発展】 ■港北区民交響楽団など、地域で活動する音楽家による室内楽コンサートを開催します。 □年2回実施（7月・1月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●イルミネーション&ライトアップ【継続・発展】 ■イルミネーションとライトアップを開催し、歴史的建造物で市指定有形文化財である当館の魅力を伝え、知名度アップと来館促進を図ります。 □年1回実施（12～1月） □WEBサイトやSNS	新型コロナウイルス感染予防の未実施 ■新型コロナ感染予防対策を受け、無観客のオンライン配信として「港北区民交響楽団室内楽コンサート」を行いました。 ■12月から1月にかけて、記念館建物のライトアップと、イルミネーションを施し、夜の記念館の建築美を演出しました（12/18～1/18）。	■計画未実施 ■変更実施 □sns 発信3回 11月7日～11月14日配信 総視聴回数240回 アンケート回答3名 満足100% ■計画実施 □年1回実施 □HP・FB・情報誌にて3件発信
-----------------------------	--	---	--

	等での自主的な発信：3件以上 ●大倉山記念館・第9回高校生ギャラリー&ミュージックフェスタ【継続・発展】 ■出展高校の生徒による、ホールおよびギャラリーを活用した作品の発表会・展示会を開催するとともに、生徒や関係者の交流を促進します。さらに、音楽系生徒の発表の場として、ミュージックフェスタも同時開催します。 □年1回実施（1月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●大倉山記念館「落語会」【継続・発展】 ■日本の伝統芸能である落語に親しむ機会を提供します。テーマは、老若男女が楽しめるものとし、幅広い年代の方の来館促進を図ります。 □年1回開催（12月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 ○第45～50回大倉山ジョイフルコンサート【継続・発展】	8月の段階で、新型コロナ感染予防の影響で、学校内の催事が滞っていたため、早々に開催中止となりました。 新型コロナ感染予防対策による、緊急事態宣言再発出予定に伴い学校（慶応）側の校外活動の自粛により出演予定だった学生が参加できなくなったため中止となりました。 共催者に開催されるホールの換気能力が不十分と判断され、港北公会堂での開催となり	■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施
--	--	---	---

信 横浜市の「先進的な文化芸術」と「地域の文化芸術」の接点を創る	での自主的な発信：3 件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 (4 段階中 1・2 番目の評価)：80%以上 ○第9 白山高校美術コース作品展示会【継続・発展】 ■共催者へのご挨拶と事前打合せを実施します。 ■共催者へのアンケート調査の実施および来年実施内容へ反映します。 □年 1 回実施 (7 月) □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 (4 段階中 1・2 番目の評価)：80%以上 ●地元若手アーティストの作品展示とワークショップ開催【継続・発展】 ■伝統と歴史を大切にしながら、新しい大倉山ブランドを創造、発信し、新たなファン層を作ります。 □年 1 回実施 (9 月) □WEB サイトや SNS 等での自主的な発信：3 件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 (4 段階中 1・2 番目の評価)：80%以上 ●他の文化施設などからの出張授業を誘致【継続・発展】 ■横浜市文化プログラムの「横浜トリエンナーレ」に参画し、大倉山記念館を地域の	ギャラリーを若手アーティストに活用いただく機会として、「17 歳の表現 白山高校美術コース 2 学年学外展示会」(7/26～28)を予定しましたが、新型コロナウイルス感染予防対策の影響で開催中止。 ■「kennsuke Takahashi アートワークショップ 2020 巨大作品展」横浜ラポールの協力を得てアーティストが身体に障害を持った方々と共同制作した幅 14m の絵を展示。 ■日本大好きプロジェクトによる伝統文化体験ワークショップの一環として「影絵」のオ	■計画未実施 ■計画変更実施 1 月 26 日～2 月 2 日 □とてもよかった・よかった 100%総入場者数 197 アンケート総数 18 ■計画実施 9/19～30 □SNS 配信 3 回 再生回数 108 回
--	---	---	--

文化芸術活動に関わりたい方 と発信したい方をつなぐ 定期開催事業や長期事業を展開し、教養や文化の向上とリピーター化の推進 積極的な市民交流を促進	文化ハブとして各文化拠点や文化施設、団体などつながり、地域の文化を発信するとともに、他地域の活動・市内の先端的な活動を地域に届けます。 □年1回実施（8月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●文化芸術活動の支援講座 【継続】 ■コンシェルジュが、これから文化活動を始めたいと考えている方に当施設や地域で活動する文化団体の紹介を行います。 ■実施場所として、エントランスホールや休憩スペースなども活用し、気軽に参加できるようにします。 □年5回以上開催（5月～） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 ●第10回大倉山記念館「ワークショップ」【継続・発展】（Artsワークショップ） ■当施設利用団体を講師に招き、初めて参加する方を対象にした体験教室を開催し、文化芸術に触れる機会と交流の場を提供します。 □年1回（教室回数6回）実施（4～7月）	オンライン配信で参加しました。 新型コロナウイルス感染予防対策により未実施となります。 ■日本大好きプロジェクトの学生による、扇子づくり・水墨画のワークショップ・紙漉きワークショップ・藍染ワークショップ・ちぎり絵ワークショップの開催を行った。計画では4月～7月でしたが、新型コロナウイルス感染予防対策により10月～12月に変更となりました。	■ロビーにてチラシ等を掲出配布 ■計画実施 □SNS発信3回 ・扇子づくり10/3 参加者4名 アンケート回答3名 満足100% ・水墨画10/17 参加者12名
---	--	---	--

積極的な市民交流を促進	□WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上		アンケート12名 満足100% ・紙漉き 11/14 参加者15名 アンケート13名 満足100% ・藍染 11/29 参加者20名 アンケート17名 満足100% ・ちぎり絵 12/12 参加者26名 アンケート23名 満足100%
大倉山地域の文化を発信、交流する場を開く	●第13回大倉山スプリングジャズフェスタ【継続・発展】 ■平成19年度から実施され、地域の皆様から支持を得ている事業を引き続き開催します。 □年1回実施（2～3月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●サークルラウンジの開設【継続】 ■ロビーや共有エリアを活用し、利用者・市民・アーティスト・地域の団体が交流できるスペースを提供します。 □通年（5月～） ●夏のオープンギャラリー【継続・発展】 ■（公財）大倉精神文化研究所と共催で、オープンギャラ	■換気能力に問題があったホールで、新型コロナ感染予防対策を徹底して行い、1ステージ1時間の2公演。公演の合間に徹底した除菌・サーキュレータによる強制換気を行い、開催した。収容人数は通常の約1/3としました。 昨年中止した際にご予約いただいていた方へのみご案内し、あえて広告は打ちませんでした。 ■新型コロナウイルス感染予防対策のため未実施 ■（公財）大倉山精神文化研究所と共催で、オープンギャラ	■計画実施 □3月14日 2回公演 1回 23名 2回 20名 アンケート とてもよかった・よかった 100% ■未実施 ■計画変更実施 □オープンギャラリー 入場者345名 アンケート10名

強みやノウハウを最大限生かす 定期開催事業や長期事業を展開し、教養や文化の向上とリピーター化の推進 積極的な市民交流を促進	リーを開催します。記念館の紹介の他、参加型・体験型のコーナーを併設し、夏休み時期の子どもたちが地域の歴史や魅力に興味・感心を持ち、当館を知ってもらう機会を提供することを目的とします。 ☐年1回実施（8月） ☐WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 ☐来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ○第9回国際学生交流会（ハーバード）【継続・発展】 ■共催者へのご挨拶と事前打合せを実施します。 ■共催者へのアンケート調査の実施および来年実施内容へ反映します。 ☐年1回実施（6月） ●季節のフラワーアレンジメント教室【継続・発展】 （フラワーライフスタイルの提案） ■当グループから講師を招き、季節の植物を使った各種フラワーアレンジメント教室を開催します。 ■本年度は基礎編を中心とし、どなたでも参加できる教室にします。 中級編も考慮し、参加の皆様のご要望に応じて参ります ☐年6回以上開催（4月～） ☐WEBサイトやSNS等	を開催。記念館の紹介と記念館探検ツアー・アマビエの塗り絵コンテスト・等を行い、夏休みの子供たちが地域の歴史や魅力に興味を持ち当館を知ってもらうことを目的としました。コンテスト副賞として図書券を進呈。館内ツアー参加者へは無料でジュースの提供を行いました。また屋外展示として「鶴見川流域水協議会」のご協力で移動水族館を開催していただき、子供たちに楽しんでもらえました。 新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外から参加が無かったため中止 ■受付開始とほぼ同時に予約終了となってしまうほど人気のある事業です。基礎から学べ、講師の先生とも楽しくおしゃべりができる点が、この人気につながっています。今後は、開催回数の検討とステップアップ又は初心者を取り込み等考えてゆきます。	とてもよかった・よかった100% 子供記念館探検アンケート 菊名小1名・大倉山保育園1名 とても面白い100% ■計画未実施 ■計画実施 コロナの感染予防対策もあり本年は年4回開催となりました。 ☐アンケート 大変良かった・よかった100%
--	--	--	--

	での自主的な発信：3 件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 （4 段階中 1・2 番目の評価）：80%以上 ●大倉山寄り道コンサート 《大倉山サロン》【継続・発展】 ■ロビーや館内の共有スペースを活用した、どなたも気軽に参加できるコンサートを開催します。 □年 3 回以上開催（9 月～） □WEB サイトや SNS 等での自主的な発信：3 件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 （4 段階中 1・2 番目の評価）：80%以上 ■季節の花と、季節にちなんだ音楽をお届けする「花音コンサート」を開催します。 □年 2 回開催（4 月、9 月） □WEB サイトや SNS 等での自主的な発信：3 件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計 （4 段階中 1・2 番目の評価）：80%以上 ●公募作品を AR として配信【継続】 ■市民や利用者などから広く作品を募集し、その中から優秀作品を AR 作品として配信し、施設や地域の PR に活用します。 □年 1 回開催 2 月	新型コロナウイルス感染防止対策の為 開催見合わせ 新型コロナウイルス感染予防対策の為中止 新型コロナ感染防止対策により公募見送り。	■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施 ホール等利用者の方に対し、インターネット配信等行っていたけるよう、USB ケーブル設置等 環境整備を行いました。
--	--	--	---

--	--	--	--

②市民協働、市民主体の活動の支援、地域人財育成及び文化的コモンズ形成の牽引

[取組内容] 地域住民や町内会、学校、近隣施設等との積極的な協働を推進する	[達成指標] ●ボランティア養成講座検討会【継続・発展】 ■運営サポーター制度の継続・発展として、当館のボランティア育成にあたり、現状や課題について話し合う検討会を開催します。参加者は、既存サポーターや利用者とし、その内容をボランティア養成講座の構築に役立てます。 □検討会開催：年1回以上 ●ハニーカフェ&マルシェ【継続・発展】 ■イベント開催時等に地域の団体による軽食提供を行うカフェやを開催します。 □実施：年2回以上 ●ICTを活用した地域回遊イベント【継続・発展】 ■地域や商店街のイベントと連携し、ARやSNSを活用した地域回遊性を高めるイベントとして、デジタルフォトフレームを作成・運用します。 □実施：年1回以上 ●地域一体防災訓練【継続・発展】 ■町会や学校、施設などと合同の避難訓練を行います。 □実施：年1回以上 ●大倉山公園愛護会の活動	新型コロナ感染予防対策の為に未実施 記念館主催・共催の催事の際、ロビーにてカフェを開催、ドリンクや地元産のお菓子やパンの販売を企画していましたが、新型コロナ感染予防対策の為にすべて未実施となりました 新型コロナウイルス感染症予防対策により未実施 新型コロナ感染予防対策の為に中止としました。	■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施
---	--	---	---

既存の協働の継続と新たな事業展開により、今まで以上に協働を活性化させ、協働と交流の輪を広げる	への協力【継続・発展】 (1) 大倉山公園愛護会による花の苗植え活動の継続と発展 ■苗植え活動に参加するとともに、植物のお手入れ方法のアドバイスなどを行い、活動の発展に寄与します。 □植え付けおよびお手入れ活動：年4回以上実施 (2) 花のタネの配布 ■愛護会の活動参加者に花のタネを配布し、ご自宅や学校での栽培を通じて、植物を育てる楽しさを伝えます。 □花のタネの配布：年1回 ●大倉山ミーティングの開催【継続・発展】 ■市民、利用者、地域住民、関係団体などを招き、利用ルールや施設への要望および地域課題について話し合います。また、今後に予定している大倉山記念館サポーターズや人材育成活動等の各種施策についてのご意見やご要望も伺い、施策に反映させます。 ■現状の利用ルールの確認と見直しの必要性を話し合います。 ■現状の利用料金の確認と見直しの必要性を話し合います。 □年2回以上開催 ●第10回おしえて！まちの先生【継続・発展】 ■「まちの先生」制度と当館のPRのために、気軽にでき	■大倉山公園愛護会の活動への協力 (1) 毎月開催される大倉山公園愛護会による花植活動の開催に協力し、毎回参加しました。愛護会の活動方針を踏まえつつ、関係各所と協議の上、昨年度に続き、花壇に新たな花苗を植栽、育成しました。 (2) 花の種配布はせず、代わりに愛護会の活動ご参加者やご利用者さまに、植栽入れ替え時に、植えてられていたまだ楽しめる花鉢などの配布を行いました 新型コロナ感染予防対策の為開催見合わせ。 コロナ感染予防対策により中止・未実施	■計画実施 □年2回植付けとメンテナンス7回を含む計9回実施 ■計画未実施 ■計画未実施
---	---	---	--

運営方法や事業の実施効果の検証に皆様の声を取り入れる 大倉精神文化研究所や大倉山公園をはじめ、近隣施設・地域団体等とのネットワーク構築につとめ、文化的コモンズの形成に進めるとともに、文化芸術活動を通じた地域連携活動を展開する 人材育成活動に積極的に取り組む	る文化活動体験の機会を提供します。 □年1回実施（1月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ○大倉山講演会【継続・発展】 ■共催者である大倉山精神文化研究所との事前打合せを実施します。 ■研究所へのアンケート調査の実施および来年実施内容へ反映します。 □年4回実施（4～7月） □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ○第35回小さな丘のメリークリスマス【継続・発展】 ■共催者へのご挨拶と事前打合せの実施を実施します。 ■共催者へのアンケート調査の実施および来年実施内容へ反映します。 □年1回実施（12月） □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●文化芸術活動団体の施設WEBサイトでの紹介【継続・発展】 ■WEBサイトで、文化芸術活動団体や若手アーティスト	■全4回シリーズの大倉山講演会ですが、新型コロナ感染予防対策の為、3月の1回のみ開催しました。 新型コロナ感染予防対策の為共催者との協議の上、中止となりました。	■計画変更実施 □参加者31名 アンケート31名 大変良かった・よかった 87% ■計画未実施 ■計画未実施
---	---	--	--

文化芸術の専門的な知見と経験を有するとともに、地域の多様な主体とネットワークを築く専門性と、コーディネート能力を持った人材によって文化的コモンズの形成を牽引する 施設と地域が培ってきたものを継承しながら、資源やネットワークをさらに活かし、時代に適した、これからの地域文化拠点として相応しい施設を目指す	トの紹介やリンク貼り付けを行い、広く紹介します。 □紹介団体：3団体以上 ○第35回大倉山秋の芸術祭【継続・発展】 ■共催者へのご挨拶と事前打合せの実施を実施します。 ■共催者へのアンケート調査の実施および来年実施内容へ反映します。 □年1回実施（11月） □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ○第35回大倉山こどもフェスティバル【継続・発展】 ■共催者へのご挨拶と事前打合せの実施し、円滑な運営を図ります。 ■大倉山公園と連携して子どもや市民と共にアート作品を作り当館屋外に展示します。 □年1回実施（5月） □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）80%以上 ○第13回大倉山ドキュメンタリー映画祭【継続・発展】 ■共催者へのご挨拶と事前打合せを実施し、円滑な運営を図ります。 □年1回実施（3月） □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%	共催者との協議の上、第35回大倉山秋の芸術祭を開催しました（10/31～11/4）。期間中は全館を活用し、大倉山記念館をご利用の皆様によるプログラムを実施しました。今回3階踊り場を利用したコンサートや、ホールでのファイナルコンサートをロビーでも鑑賞できるようネット回線で中継するなど新しい試みを行いました。 新型コロナウイルス感染予防対策の為に共催者との協議の上中止となりました。 。 新型コロナウイルス感染予防対策の為に共催者と協議し中止となりました。	■計画実施 □年1回開催 □満足度（大変良かった・よかった）68% *入場者数2117名 ■計画未実施 ■計画未実行
--	--	---	--

文化的コモンズ形成のために、文化施設として求められる専門性と、地域の顔として求められる多様な役割を両立するため、この役割を担う多様なコーディネーターを育成し、協働を推進	以上 ○市内の他の文化施設や文化団体等との連携事業【新規】 ■市内の他の文化施設の運営団体や（公財）横浜市芸術文化振興財団 と連携・協働した事業を行いました。 ■全国で文化施設の管理運営実績を持つ協力企業からアドバイスをいただくとともに、連携・協働事業を開催します。 ■共催者へのご挨拶と事前打合せの実施 ■共催者へのアンケート調査の実施および来年実施内容への反映 □年1回以上（10月～） □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上	■1月26日～2月2日はラポール横浜様と協力し「kensuke Takahashi」巨大作品展を開催 オープンギャラリー時には鶴見川流域水協議会にご協力いただき、駐車場のスペースで「移動水族館」を開催いただきました。	■計画変更実施 □総入場者数 197 アンケート総数 18 とてもよかった・よかった 100%
---	---	--	---

③建築物としての保存、管理及び価値の普及並びに市民の円滑な施設利用の促進

[取組内容] 施設の価値と保全の必要性を体感・体験できるイベントや事業の実施	[達成指標] ●ガイドツアー【継続・発展】 （1）施設見学プログラムの実施 ■港北区と連帯しながら、地域の小学生に向けた事前予約制の施設見学ツアープログラムを構築します。 □施設見学ツアー参加：希望校に対応 （2）観梅会や大倉山オープンヘリテージなどの市内イベント開催時のガイドツアー ■市内イベント開催時や来館者が多い季節に施設スタッフ	学校の要望に応じて随時、館内見学を受付待ち機しておりましたが、新型コロナ感染予防対策の為依頼はありませんでした。（オープンギャラリーで館内探検ツアーを実施しました。）	■計画未実施 □随時実施 ■計画未実施
--	--	--	--

利用者・地域住民などととともに「大倉山記念館利用ルール」を策定し、広く告知するとともに、遵守を徹底	による館内・公園の無料ガイドツアーを実施します。 □年12回開催 □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 □来場者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上 ●関係団体との連携による文化財の保護【継続・発展】 ■修繕の際は、歴史的資産の保全活用に関する調査研究やその成果の普及啓発に取り組む横浜市歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）監修のもと、文化振興課及び教育委員会と協議を行います。 ■修繕を実施する際は、横浜市歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）監修のもと、その内容について可能な限り情報を開示します。 ■当グループが管理運営する他の文化財施設や全国の文化財施設との連携を深め、情報共有・情報交換を行います。	■（公財）横浜歴史資産調査会ヘリテイジサポートクラブの会員として、情報収集・情報交換をいたしました。また、文化振興課及び教育委員会の監修の元、修繕を実施しました。	■計画実施 □・防虫網戸設置 ・館内木製椅子のニス塗装 ・木製扉修復 ・窓枠塗装・修繕 等 ■計画実施
地域のシンボルとして、メディアの撮影や、一般向けウエディングロケ地として活用し、施設と地域のイメージアップに貢献する	●撮影・ロケの積極的な誘致【継続・発展】 （1）メディア撮影・ロケへの協力 ■撮影等への利用に積極的に協力し、施設の有効活用を図ります。 □撮影協力：目標 年間35件 （2）協力会社やロケ地コーディネート会社への積極的な情報の開示 ■撮影実績のある制作会社	■撮影・ロケ問い合わせに対して、積極的な誘致・対応を行い、受注できるようフォローを行いました。また、配信撮影にも力を入れ、回線速度の安定の為、「USBケーブル」の購入・レンタル開始な	■日常点検の方法など施設運営に関することや、催し物の開催方法など施設活用に関することを随時共有しました。 ■計画実施 □撮影実施：45件 ネット配信含む ■計画実施

地域住民・連携先とともに公園と地域のにぎわいを演出	やコーディネート会社に加え、協力会社や代表団体の広報室、新たなコーディネート会社に対しても積極的な情報提供と撮影誘致を行います。 （３）ウエディングフォトロケーションとしての活用 ■文化財として、伝統と趣のある施設のロケーションを記念日の写真撮影スポットとして活用します。 □撮影協力：目標 年間２件	どにより、昨年を上回る撮影回数実績へ繋げました。 ■テレビ・映画・自主・人前式と、その他メディアへの積極的な取材対応を重ね、ロケ地としての知名度の維持・向上へ繋げました。 □ウエディングフォト撮影のご利用が２件ありました。	■計画実施 □撮影協力：年間２件
当施設だけでなく、地域全体の保存と活用を推進する	●大倉山記念館 花めぐり 【新規・継続】 ■当館の館内ツアーをはじめ、大倉山公園や近隣の花をめぐりながら、地域の魅力を再発見します。 ■大倉精神文化研究所職員や当グループ内の植物専門家、地域の歴史に詳しい方などを講師とし、建築・植物・地域の歴史など、幅広い内容にします。 □年１回以上開催（３月） □WEBサイトやSNS等での自主的な発信：３件以上 □参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（４段階中１・２番目の評価）：８０％以上	新型コロナウイルス予防対策の為に未実施 新型コロナウイルス予防対策の為に館内ツアー未実施 ■外出規制のかかる中、花のみどころを２月３月の花の時期に合わせ、随時FBにて更新、オンライン上でお届けしました。	■計画未実施 ■計画変更実施 □季節（開花時期）に発信 □HP・FB・情報誌にて３件以上発信
当施設だけでなく、地域全体の保存と活用を推進する	●今昔建築講座【継続・発展】 ■大倉精神文化研究所、一般社団法人横浜歴史資産調査会や日本民家再生協会などとの連携による歴史的建造物や伝統ある建築物についての講習会を開催します。建築に詳しくない方でも気軽に参加でき、楽	新型コロナウイルス予防対策の為に未実施	■計画未実施

	しめる内容とすることで、当施設を始めとする伝統的建築物の素晴らしさを知っていただく企画を提供します。 ☐年2回以上開催（6月～） ☐WEBサイトやSNS等での自主的な発信：3件以上 ☐参加者アンケート「大変満足」と「満足」の合計（4段階中1・2番目の評価）：80%以上	開催中止	
--	---	------	--

④広報・プロモーション活動、情報提供

[取組内容] マルチチャネル、多言語の広報を展開 サークルラウンジの設置	[達成指標] ●施設紹介パンフレットの作成および情報発信【継続・発展】 ■28年度に刷新したパンフレットを活用します。 ■パンフレットは館内で配布するほか、WEBサイトからのダウンロードできるページを継続して運用して行きます。 ■重要な箇所は、英語等の多言語での記載も検討します。 ●チラシの作成【継続】 ■催事や地域の季節の情報をお伝えするチラシを制作します。 ■チラシは、館内・商店街・最寄駅・近隣施設等で配布します。 ☐チラシ：年4回発行 ☐新聞折込：年4回以上 ●情報コーナーの設置【継続・発展】 ■当施設の毎月の催事情報を掲示・配布します。	■リニューアルしたパンフレットを運用しました。また、精神文化研究所と共同で、多言語パンフレットを制作し掲出いたしました。 ■毎月情報誌を作成し、催事を中心とした記念館からの情報をお伝えしました。また、チラシは館内、最寄駅、商店街、市内公共施設にて配布しました。 新聞折り込みは未実施 ■当施設の毎月の催事の情報を通年掲示しました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ☐年回12回発行 ■計画実施
---	---	---	---

大倉山コンシェルジュの配置	■周辺施設の文化事業の情報を収集し、掲示・配布します。 ■情報コーナーでは掲示物や配布物をゆっくりと閲覧できる、サークルラウンジとして継続運用します。 ●コンシェルジュの実施【継続】 ■地域の情報に精通した大倉山コンシェルジュが、館内の催しや地域の用法をはじめとした各種情報をお伝えし、地域と大倉山記念館および利用者をつなぐ役割を果たします。 □年4回以上開催	新型コロナウイルス感染予防対策のため未実施	■計画実施 ■計画未実施
全国の店舗と自社WEBサイトで広範囲の広報展開を行う	■コンシェルジュは地域の一員として、地域や近隣学校の行事、集まりに積極的に参加・協働します。 ●利用者の利便性向上に向けての取組【継続】 (1) WEBサイトの運用 ■28年度に作成したWEBサイトの運用にあたり、「横浜市インターネット情報受発信ガイドライン細則1WEBページ作成基準」や代表団体が社内で独自に定める各種規定の遵守し、安全・安心と効果を両立させます。 ■WEBサイトに施設の予約状況を公開し、空き時間の利用促進を図ります。 ■WEBサイトに、地域で活動する文化団体や若手アーティストの紹介やリンク貼り	■新型コロナウイルス感染予防対策から、地域や近隣学校の行事などへの参加は見合わせました。 (1) リニューアルしたWEBサイトを継続運用しました。 ホームページに空き状況を公開致しました	■計画未実施 ■計画実施 ■計画実施

	付けなどを行い、広く紹介します。 ■地域や商店街のイベント 情報や季節のお知らせを掲載し、「まちの情報ステーション」としての役割を担います。 ■代表企業や市内施設の WEB サイトにリンクを貼り、広域での広報活動を実施します。 (2) さまざまな利用者への配慮 ■ピアノやラジオカセットなどの有料貸出や、机やイスの無料貸出など、様々な利用者を想定した各種貸出グッズを用意します。 ■多言語での館内案内表示・アンケート実施など、外国人利用者へ配慮した取り組みを実施します。 (3) 利用者のご意見を伺う仕組み作り ■館内の目に付きやすい場所にご意見箱を設置します。 ■利用者アンケートを実施します。 ●広報よこはま等へ掲載依頼および当グループの広報連携の取組 【継続・発展】 ■「広報よこはま」および地域フリーペーパー等への積極的な掲載依頼を行います。 ■当グループのWEBサイトへのリンクや広報室を活用したプレスリリースによる広域の広報PRを実施します。 ●ソーシャルメディアを活用した情報発信【継続・発展】	■ご利用者さまの需要をふまえ、ギャラリーにて畳・座布団の貸出を開始しました。備品の不具合について、随時修繕・補充し、対応しました。 ■多言語案内ツールを作成し、運用開始いたしました。 ■昨年度よりロビーにご意見箱の設置を継続的に行いました。頂戴したご意見に関しては真摯に受け止め可能な限り対応いたしました。 ■広報よこはま、タウンニュース、ASA 大倉山など、地域誌への掲載依頼を実施しました。また、年4回発行の代表企業の指定管理施設紹介の広報誌に、大倉山記念館の施設。催事情報を掲載しました。、、	■計画一部実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■一部計画実施 ■計画実施
--	---	---	---

SNSやARなどのICTを活用した積極的なプロモーションを展開	(1) Facebookでの情報発信 ■当施設の最新情報やお知らせ、地域の旬の情報をお伝える「大倉山記念館 Facebook」を開設し、認知度の拡大と既存利用者の満足度向上と新規利用者の拡大を図ります。 □Facebookでの情報発信：4日1回以上	■WEBサイトに大倉山記念館WEBサイトのリンクを実施・継続活用いたしました。 ■SNSを活用しました。	■計画実施 □Facebookでの情報発信：3日1回以上
地域や各団体と連携した広報を実施	●関係機関等との連携によるPR活動【継続・発展】 (1) 港北区区民活動支援センターでのPR活動 ■港北区役所4階にある港北区区民活動支援センターで、当施設の利用手引きや催事場法の配布、相談窓口における当施設の利用案内を推進することにより、区内の新規利用者の発掘に努めます。 ■港北ボランティアガイドとの連携による見学ツアーを定期的に実施します。 ■区民活動支援センターにおける利用案内体制を確立します。 (2) 港北国際交流ラウンジとの連携強化によるPR活動 ■港北国際交流ラウンジに働きかけ、ラウンジ内で当館の利用手引きやパンフレット、イベント情報の配布を行い、外国人の利用を促進します。 ●地域の文化活動団体への支援【継続・発展】 (1) 既存共催事業の継続と発展 ■既存共催事業における各団体との話し合いの場を持	■開設したFacebookを運用を継続し、記念館や記念館周辺の旬の情報（梅の開花・桜の開花周辺の植栽等）をお伝えしました。 ■オープンデーの際ご協力いただきました。 ■当館での共催事業などを通じて、港北区区民活動支援センターとの広報協力を行いました。 ■港北区国際交流ラウンジにパンフレット設置及び、親和性の高い催事のチラシを設置いただき、外国人の方がたへの周知に繋げました。	■計画実施 ■一部計画実施 ■計画実施 ■計画実施

市民が行う文化芸術活動に対する情報提供や専門家の紹介などを支援 各種ガイドラインを遵守	ち、施設の特性を活用し、事業を実施します。 ■現状における課題や要望についてお伺いし、その解決や改善に尽力し、事業の発展に貢献します。 (2) 地域で活動する文化団体の維持と発展を支援【継続・発展】 ■大倉山コーディネーターとして、地域の文化団体の芸術活動に関する情報を収集します。 ■施設内に情報コーナーを設置し、地域の文化団体の活動をお知らせするチラシやパンフレットを配布を継続します。 (3) 文化活動を始めたいと考えている方への支援 ■館内に設置した地域の文化活動団体の紹介コーナーで会員募集を行います。 ■既存団体の中から希望する活動に適した団体を紹介します。 ●WEBサイトの新規作成【継続・発展】 ■横浜市インターネット情報受発信ガイドラインを遵守し、WEBサイトの運用を継続します。 ■催しの情報や年度事業計画書・報告書をWEBサイトに掲載します。 ■施設の貸出状況、次回抽選日、各室の稼働状況をWEBサイトに掲載し、情報発信を行います。	■既存共催事業の継続と発展のため、各既存事業における団体との話し合いの場を持ち、事業の継続発展に繋がりました。事業の実施を通じて、現状の課題や要望について随時お伺いし、協議の上、解決・改善に努めました。(4月～秋の術祭実行委員会・開催見合わせなど打ち合わせ。ジョイフルコンサート実行委員会等) ■広告・インターネットでの情報収集を行い、ご利用者様でご興味のある方にお伝えしました。またご利用者様からも情報をいただく事ができました。 ■地域で活動する文化団体の維持と発展を支援するため、地域の文化団体の芸術活動に関する情報を収集し、施設内に設置した施設内に情報コーナーで、地域の文化団体の活動を紹介しました。 ■文化芸術活動を始めたい方への支援として、文化活動団体の紹介コーナーにて、会員の募集を随時行いました。また必要に応じて、団体の紹介を行いました。 ■横浜市インターネット情報受発信ガイドラインを遵守して作成したWEBサイトを継続運用しました。 ■催しの情報や、施設の貸出状況の情報発信を継続運用しました。 ■歴史的建造物への興味喚起に向け、大倉精神文化研究所	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
---	---	---	---

施設の歴史、見どころをわかりやすく伝え、知識と教養の向上に伝える	●歴史的建造物への興味喚起に向けての取組【継続・発展】 (1) 配布用チラシ制作 ■大倉山精神文化研究所や横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）と連携し、歴史的建造物である大倉山記念館への関心・理解を深めることを目的として、配布用チラシ（A3サイズ）を常備し、一般見学者や総合学習授業で来館する小・中学生に配布していきます。	様にご協力いただき、ギャラリーで「建築時の状況」「大倉邦彦の理念」などの展示を行いました。 ■（公財）大倉精神文化研究所との協力で、創立者大倉邦彦に関するパンフレットを作成 継続運用いたしました。施設紹介・建築紹介パンフレットと併せて、ご希望者に配布しました。	■計画実施
---	--	--	--------------

(2) 施設運営について

①文化活動等への施設の提供（貸出業務への取組）

[取組内容] 市民・利用者の利便性と公平性、施設の維持に配慮し、関係者と共に策定する利用ルールの徹底で、どなたにもわかりやすく、いつまでも快適な施設利用を実現	[達成指標] (1) 開館について <table><tr><td>開館日数</td><td>347 日</td></tr><tr><td>開館時間</td><td>9 時～22 時</td></tr><tr><td>休館日</td><td>施設点検日：12 日間（月 1 日） 年末年始：12/29～1/3 計 6 日間</td></tr></table> (2) 利用料金について：別紙のとおり (3) 利用者本位の貸出し業務の遂行、適切な貸出しシステムの構築と運用無事故を目標とします。 利用ルールの徹底、日常から利用者・市民の声を聴き、施設運営に反映することで、苦情の未然防止策に努めます。それでも発生してしまった苦情には迅速に対応し、その内容を施設運営に役立てることで、利用者が安全・安心で、快適にお過ごしいただける環境を創ります。 ■ご要望やご意見および対応内容の館内等への表示 ■ご要望やご意見の全スタッフの共有 (4) 駐車場の運営 ■安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるよう臨機応変に対応します。 ■利用ルールの告知 (5) 全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ■毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場内の巡回点検を実施します。	開館日数	347 日	開館時間	9 時～22 時	休館日	施設点検日：12 日間（月 1 日） 年末年始：12/29～1/3 計 6 日間	(1) 開館について <table><tr><td>開館日数</td><td>300 日 コロナによる閉館期間 4/7～5/25</td></tr><tr><td>開館時間</td><td>9 時～22 時</td></tr><tr><td>休館日</td><td>施設点検日：12 日間（月 1 日） 年末年始：12/29～1/3 計 6 日間</td></tr></table> (2) 利用料金について、別紙のとおり運用しました。 (3) 利用者本位の貸出し業務の遂行、適切な貸出しシステムの構築と運用無事故を目標とし、運営しました。利用ルールの徹底、日常から利用者・市民の声を聴き、施設運営に反映することで、苦情の未然防止策に努めました。それでも発生してしまった苦情には迅速に対応し、その内容を施設運営に役立てることで、利用者が安全・安心で、快適にお過ごしいただける環境創りへ努めました。 ご要望やご意見は全スタッフで共有し改善に努めました。 (4) 駐車場の運営 駐車場の運営として、安全に充分注意し、希望者ができるだけ駐車場を利用できるよう臨機応変に対応しました。 利用ルールの告知を実施しました。（1 団体 1 台） (5) 全スタッフの統一された高レベルの巡回点検を実施しました。 毎日、開閉館時にチェックシートを用いて、駐車場内の巡回点検を	開館日数	300 日 コロナによる閉館期間 4/7～5/25	開館時間	9 時～22 時	休館日	施設点検日：12 日間（月 1 日） 年末年始：12/29～1/3 計 6 日間	■計画実施 左記日数及び開館時間の実施と休館日における施設点検を励行した。また、新型コロナウイルス予防対策として、ご利用者入れ替え時の除菌消毒と、日に3回館内チェック時に共用部分の除菌・消毒を行いました。 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
開館日数	347 日														
開館時間	9 時～22 時														
休館日	施設点検日：12 日間（月 1 日） 年末年始：12/29～1/3 計 6 日間														
開館日数	300 日 コロナによる閉館期間 4/7～5/25														
開館時間	9 時～22 時														
休館日	施設点検日：12 日間（月 1 日） 年末年始：12/29～1/3 計 6 日間														

目標利用率（5年平均） ホール90%/ギャラリー99% 1集会78%/2集会90% 3集会63%/4集会71% 5集会79%/6集会62% 7集会76%/8集会58% 9集会71%/10集会84%	□日常巡回点検：1日2回以上 （6）各部屋の目標利用率について						実施しました。 （6）各部屋の利用率実績について						■計画実施 □日常巡回点検：1日3回以上実施 ■各会議室の目標利用率は、新型コロナウイルス予防対策による影響があり、特に4月～の全館休館の影響があり、すべての集会室で計画を大きく割り込みました。 尚、数値データ」は横浜市予約データより抽出しております。後半の新型コロナウイルス感染予防対策により最終コマの利用停止などがあり、分母となる部屋数が少なくなっており、利用率が少し高くなっています。
	ホール	ギャラリー	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	ホール	ギャラリー	第1会議室	第2会議室	第3会議室	第4会議室	
	94%	99%	82%	95%	67%	73%	65%	77%	60%	45%	46%	59%	
	第5会議室	第6会議室	第7会議室	第8会議室	第9会議室	第10会議室	第5会議室	第6会議室	第7会議室	第8会議室	第9会議室	第10会議室	
	82%	67%	80%	67%	75%	88%	60%	51%	57%	30%	41%	66%	

②利用促進・利用者サービスの向上及びアイデア・ノウハウの一層の活用

[取組内容] 公益性・公共性・利用者満足度の高いアイディア・ノウハウを積極的に提案し、施設や地域のファンを増やし、リピーター化推進	[達成指標] （1）花とみどりによる清潔で潤いある環境を演出 ■施設入口に季節の花の寄せ植えやコンテナガーデンを設置します。 ■集会室や館内共有スペースに観葉植物を配置します。 ■トイレには生花や鉢物を配置し、環境美化に寄与します。 ■夏場には、利用者や地域住民に環境保全啓発を実施します。 （2）外国人利用者、外国人観光客が来館しやすい環境づく	（1）地域の皆様や施設利用の皆様のご協力により、館内に切り花や寄せ植えを展示しました。記念館主催の演出として、事業開催時に合わせ、正面玄関と女性用手洗に季節の花の装飾を施しました。 ・梅のアレンジ（2/7～2/12）施工。好評をいただきました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施

苦情発生・要望への対応	り ■施設のパンフレットや館内案内の多言語による表示を継続します。 ■英語等を話せる講師による催事を実施し、外国人も参加できるようにします。 □実施：年1回以上 ■2020年のオリンピック開催に向け、近隣施設などと協働し、地域ぐるみで外国人招致を推進します。 ■外国のアーティストやデザイナーを招き、外国文化を体験するワークショップや展示会を開催します。 □実施：年1回 (3) 職業体験の場の提供 ■市や小中学校で実施している職業体験や、近隣施設のインターンシップの受入を行います。 (4) 施設のロゴを一般公募します ■広く市民から「大倉山記念館のロゴ」を募集し、ウェブやパンフレット、チラシなどで活用します。 (5) 大倉山記念館サポーターズを立ち上げます。 ■大倉山記念館のファンとなっていた個人、法人をサポーターズとして組織化し、施設の維持や運営に役立てると共に施設や地域への愛着を醸成します。 6) 利用者ニーズに応じたさまざまなサービスの導入 ■アンケート調査・利用者懇談会などの利用者のニーズに迅	■多言語パンフレットを作成し外国の方にもわかりやすい案内に活用 計画未実施 新型コロナウイルス感染予防の為見送り 新型コロナウイルス感染予防の為見送り 新型コロナ感染予防対策の為未実施 新型コロナ感染予防対策の為未実施 新型コロナ感染予防対策の為未実施 ■施設運営を通じて、日頃より窓口にていただく施設利用の	■変更実施 ■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施 ■計画未実施 ■計画実施
--------------------	---	--	---

	速に対応して、運営にフィードバックします。 ■各室利用者や事業共催者の利便性向上のため、事前予約によるお弁当販売紹介の仕組みを検討します。 ■各種貸し出しグッズの提供、無料貸出を行います。 ■館内に設置した授乳室をより快適で使いやすい環境に見直しします。(空き室がある場合臨機応変に対応します) ■催事開催時に子どもの預かりを行い、母親が安心して催事に参加できるサービスを検討します。 ■増設したベンチの運用を継続します。 ■地域の各種情報を発信する「まちの情報ステーション」としての役割を担います。 ■館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置、運用を継続します 。	皆様のご意見を拝聴し、駐車場の利用台数の運用や、ホールご利用時の控室の優先利用など、ルールの改定・継続時実施いたしました。 新型コロナウイルス感染予防の為未実施 ■車いす、ベビーカーに代わり、新規で畳と座布団の貸出を開始しました。 ■授乳室の使いやすい環境を維持しました。新型コロナウイルス感染予防対策を受け、日に2回のアルコール除菌を行いました。 ■新型コロナ感染予防対策の為未実行 ■ベンチの運用を継続しました。木製品がアルコール消毒では色落ちしてしまうため、次亜塩素酸で消毒除菌を行いました ■精神文化研究所と協力し多言語パンフレットを作成いたしました。 ■館内に災害時対応機能付きの自動販売機を設置し、運用を継続しました。	■計画未実施 ■計画変更実施 ■計画実施 ■計画未実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
--	---	---	--

③組織的な施設運営（職員の確保、配置及び育成）

【取組内容】 施設の特性を熟知したスタッフによる安全・安心・快適を最優先に考えた運営組織を構築し、施設の顔として、利用者や地域住民・市民に最高の「おも	【達成指標】 (1) 人材の配置について <table><tr><td>項目</td><td>人数</td><td>備考</td></tr></table>	項目	人数	備考	(1) 人材の配置について <table><tr><td>項目</td><td>人数</td><td>備考</td></tr></table>	項目	人数	備考	■総勢9名で施設運営を行いました。
項目	人数	備考							
項目	人数	備考							

てなし」を提供

館長	1人	業務全体の統括責任者、対外折衝
----	----	-----------------

職員	4人	施設維持管理、イベント・広報、総務
受付アルバイト	5人	
合計	10人	

(2) 勤務体制について

・開館時、閉館時とも1人以上の正社員を配置

・夜間～閉館時は2名以上を配置し、安全・安心を確保

・学生や主婦、シルバー人材の活躍の場として、短時間勤務や夜間勤務を設定

・業務に応じて、スタッフの配置時間や人数を調整

・労働基準法を遵守した配置計画とする

・本部サポート部隊との連携を密にし、円滑に運用

(3) 研修について

■運営開始前および運営開始後の定期的かつ計画的な研修を実施します。2年目は、接客接遇や利用受付、緊急時対応等の基本的な内容の習得を徹底

□基礎研修：年1回

□応用研修：年1回

館長	1人	業務全体の統括責任者、対外折衝
----	----	-----------------

職員	3人	施設維持管理、イベント・広報、総務
受付アルバイト	5人	
合計	9人	

(2) 勤務体制について

開館時、閉館時とも1人以上の職員を配置しました。夜間～閉館時は2名以上を配置し、安全・安心を確保しました。学生や主婦、シルバー人材の活躍の場として、短時間勤務や夜間勤務を設定しました。業務に応じて、スタッフの配置時間や人数を調整しました。

労働基準法を遵守した配置計画としました。

本部サポート部隊との連携を密にし、潤滑な運用にあたりました。

■計画実施

■計画実施

利用者や市民へ質の高いサービスを提供できる人材育成を行い、「顔の見える運営」を実践	(4) スタッフミーティングの開催 ■各種ミーティングを開催し、情報共有およびチームワークを醸成します。 ■朝礼・全体会議等、定期的なミーティングを開催し、本部サポート部隊を含む、全スタッフが施設運営に関する情報や利用者の要望を共有するとともに、スタッフの連帯感や一体感を醸成します。	(4) スタッフミーティングの開催について、各種ミーティングを開催し、情報共有およびチームワークを育みました。 毎朝の朝礼・3か月ごとの定期的なミーティングを開催し、本部サポート部隊を含む、全スタッフが施設運営に関する情報や利用者の要望を共有するとともに、スタッフの連帯感を醸成しました。	■計画実施 ■計画実施
	(1) 地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確立 ■スタッフの顔が見える運営を目指します。 ■地域住民へのお声がけなど、スタッフから積極的にコミュニケーションを図ります。 ■ゴミ拾いや花植え活動など、明るく見通しの良い環境づくりに努めます。	■地域住民、地域の各種団体、関係機関等との連携体制の確立として、スタッフの顔が見える運営を目指しました。 ■ゴミ拾いや植栽メンテナンス活動で、通行をされている方とのコミュニケーション図りました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
	(2) 大倉精神文化研究所との連携強化 ■日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図ります。 □連絡調整会：月1回	大倉精神文化研究所との連携強化。日頃からスタッフ同士の積極的なコミュニケーションを図り、新型コロナウイルス感染予防対策ガイドラインの共有等行いました。	■計画実施 □計画実施
	(3) 地域の各種団体等との連携強化 ■大倉山地区連合町会や大倉山夢まちづくり実行委員会への加入を検討します。 ■日頃から防犯・感染症対策・事故防止等の情報を共有します。 ■町内会や商店街等へ自衛組織の結成や共同防災訓練の実施、連絡体制の構築を提案します。	地域の各種団体等との連携強化 大倉山地区連合町会や大倉山夢まちづくり実行委員会への加入を検討しました。加入はせず、エルム通り商店会との連携を中心に、各組織と良好な関係を構築しています。 日頃から防犯・感染症対策・事故防止等の情報を共有しま	■計画実施 ■計画実施 ■計画未実施 ■計画未実施

	■近隣中学校への職業体験利用の誘致活動を行います。 □町内会や地域の集会への参加：年４回 （４）官民協調体制の確立 ■ステークホルダーである、区民・利用者・横浜市・当グループの共益を目指した効率的な管理運営に努めます。行政のパートナーとして利用者満足度の向上に努め、得られた利益は様々な形で利用者に還元します。	した。 近隣中学校への職業体験利用など、新型コロナウイルス感染予防対策の未実施 官民協調体制の確立 ステークホルダーである、区民・利用者・横浜市・当グループの共益を目指した効率的な管理運営に努めました。	■計画実施
--	---	---	--------------

④本市の重要施策を踏まえた取組

[取組内容] 個人情報の適正な取り扱い	[達成指標] 個人情報保護への取組 ■代表団体が取得している、(財)日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努めます。 ■グループ内の個人情報保護窓口の管理のもと、法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策を構築し、大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築します。 ■個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシートの作成を実施します。 □全スタッフに対する個人情報保護研修および試験の実施：年１回 迅速で適切な情報公開 ■情報の公開にあたって	（１）個人情報保護への取組として、代表団体が取得している、(財)日本情報経済社会推進協会（JIPDEC）の「プライバシーマーク」認証に準拠した個人情報保護に努め、。法令遵守と情報の漏洩や不正アクセスなどによるデータ破損・盗難・改ざんなどのリスクを十分に理解した上で、取扱い方法・漏洩防止策を構築し、大倉山記念館の個人情報保護管理体制を構築しました。 個人情報のリスク調査、管理台帳の作成、リスクチェックシート作成など、個人情報管理の徹底を行いました。また個人情報研修・WEBでの試験を実施しました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 □年１回実施 ■計画実施
-----------------------------------	--	---	---

人権の尊重	は、市の情報公開条例を基本とした「情報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立します。 ■施設窓口や電話での問合せに対し、原則的に全ての情報を公開することを前提に、その内容に応じた適切な情報の開示を行います。ただし、市との協議を必要とするもの（情報開示請求の手続きを必要とするもの）に関しては、その手続き方法等を案内します。	迅速で適切な情報公開 情報の公開にあたっては、市の情報公開条例を基本とした「情報公開規定」を策定し、適切な情報公開体制を確立しました。 施設窓口や電話での問合せに対し、その内容に応じた適切な情報の開示を行いました。ただし、市との協議を必要とするもの（情報開示請求の手続きを必要とするもの）に関しては、その手続き方法等を案内することとしましたが、対象案件はありませんでした。	■計画実施
	■施設の管理運営に関する情報は、市民（利用者）からの請求（問合わせ）があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行います。 ■開示請求に対して非公開とした場合は、その旨と理由を遅滞なく通知します。 ■人権尊重の取組	■施設の管理運営に関する情報は、市民（利用者）からの請求（問合わせ）があった時だけでなく、積極的に自主的な情報提供を行いました。 開示請求に対して非公開とした場合は、その旨と理由を遅滞なく通知します。 ■人権尊重の取組として、	■計画実施 ■計画実施
	■スタッフの採用にあたっては、男女の区別なく、適材適所の人材登用を進めます。 ■障害者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購入を促進し、障害者との共生に積極的に取り組みます。	スタッフの採用にあたっては、男女の区別なく、適材適所の人材登用を進めました。 障がい者雇用の促進を図るとともに、授産施設からの物品購入をはじめ、障がいのある方との共生に積極的に取り組みました。	■計画実施
	■すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施し、公平・平等利用に関する知識の習得および、人権問題、ユニバーサルデザイン等の正しい理解に努めます。 □人権研修：年１回	■すべてのスタッフに対し、業務基本研修、人権研修等を実施し、公平・平等利用に関する知識の習得および、人権問題、ユニバーサルデザイン等の正しい理解に努めました。	■計画実施

環境への配慮	■スタッフのワークライフ・バランスを推進するとともに、人権を尊重し、職場の良好な雰囲気づくりに努めます。 (4) 環境への配慮 ■環境に配慮し、廃棄物発生の抑制に努めます。 ■「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R」等市の施策や事業に協力します。	■スタッフのワークライフ・バランスを推進するとともに、人権を尊重し、職場の明るく、良好な雰囲気づくりに努めました。 (4) 環境への配慮 環境への配慮として、廃棄物発生の抑制と分別リサイクルに努めました。 「市役所ごみゼロ」「横浜市脱温暖化行動指針」「ヨコハマ3R」等市の施策や事業に協力しました。	■計画実施
	市内中小企業への優先発注 ■花苗の植え付けやなどを通じて、子どもたちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発に努めます。 (5) 市内中小企業振興の取組 ■横浜市中心中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品等の購入や設備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、地域企業の育成に貢献します。	花苗や種からの育成を通じて、子どもたちをはじめ市民に環境学習機会を提供し、環境意識の啓発を予定しておりましたが、新型コロナ感染予防対策の為、不参加となりました。 (5) 市内中小企業振興の取組 横浜市中心中小企業振興基本条例に基づき、資材・消耗品等の購入や設備機器管理、定期点検等の委託業務は、市内中小企業等へ優先的に発注を行い、地域企業の育成に貢献しました。	■計画実施 ■計画実施 ■変更実施

(3) 施設管理について

①施設及び設備の維持保全及び管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
経験と実績を活かした的確な日常管理	安全・安心できる施設の維持 ■「業務の基準」の設備等保守管理項目を遵守し、日常的・定期的な施設点検を実施します。また、必要に応じて緊急点検を実施します。 ■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置します。	■点検チェックリストを作成し、常駐施設管理者による日に2回の定期点検を実施しました大雨等の発生時・震度4以上の地震発生時には緊急点検を実施しました。 ■電気工事士の有資格者が館長として常駐しており、予測不可能なトラブルに関しても	■計画実施 ■計画実施

	(2) 樹木・公園設備等の点検管理 ■良好な環境を維持します。 ■代表団体のグループ会社 に所属する樹木医や造園施工管理技能士による植物の点検と日常手入れの助言を行います。 □樹木診断：年1回 ■「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守します。 ■地域住民・行政機関・指定管理者の連携による景観づくりに取り組みます。 ■北部公園緑地事務所との連携により落葉処理等を行うため、協議内容の運用を継続します。また、必要に応じて随時協議します。	■良好な環境維持に努め、都度落ち葉清掃に努めました ■代表企業のグループに所属する樹木医に、年1度植物の点検を行い、助言をもらいました。 □樹木診断 年1回実施 ■「業務の基準」の公園管理項目一覧を遵守致し、ご利用者様からの問い合わせにも対応いたしました。 ■地域住民・行政機関・指定管理者3者により、季節の花植え、花柄掃除メンテナンス、掃除の徹底など居心地の良い景観作りに取り組みました。 ■北部公園緑地事務所との連携を行い落ち葉処理等、他の打合せを継続いたしました。また、月に1回情報交換のミーティングを行ご利用者様の声・近隣住民の方の声などの共有をしました。	■計画実施 ■計画実施 □年1回実施（6月） ■計画実施 ■計画実施
--	--	--	---

②小破修繕への取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
市の指定有形文化財であることを十分に理解し、横浜市文化財保護条例を遵守	施設・設備の予防保全 ■過去の修繕履歴を活用し、設備の予防保全を継続します。 ■現状の把握、問題箇所の抽出、材料・部品等の調達先（メーカー等）の確立を行います。 ■更新された新設空調設備	■引継ぎ時に過去の修繕記録を受領しております。 ■材料・部品等の調達先を過去の修繕履歴等で調べ、調達先を確立しました。衛生備品、電材等は不具合発生時に即時対応が出来るように修繕記録をもとに、予備品をストックしています。 ■ギャラリーの室外機の2基中	■計画完了 ■計画完了 ■継続中

予防保全に努め小破修繕を実施し、施設の長寿命化と経費削減を両立	が瑕疵補修となる場合は、対応などについて調整を行います。 中長期視点での施設・設備の修繕計画の立案 ■引継ぎ期間中に構成団体および市内の専門事業者が施設・設備を点検し、中長期視点での施設・設備の修繕計画を立案します。 □中長期修繕計画の策定：年1回	1基が故障し、現在1基のみ稼働となっております。 令和3年5月12日修理予定です。 ■定期的に施設・設備を点検の上、年々老朽化の進む現状を考え、維持・保全の年間計画を立案致しました。 □毎年3月に年度計画を作成致しました。	■計画実施 □年1回実施
--	--	---	----------------------------

③事故防止体制・緊急時（防犯）の対応・感染症対策等衛生管理

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策と緊急時対応体制の整備を実施	（１）「利用者・地域住民の安全・安心」を第一に考えた予防的対策 ■事故などの原因となる現象や状況（ハザード）をまとめた、ハザードマップを作成完成し、今後も継続的に運輸します。 ■防犯カメラの設置箇所について、適宜見直し、今後も継続いたします。 ■手指消毒液の設置を設置完了し、今後もインフルエンザ・ノロウイルス対策を継続します。 ■救急セットやAEDの配置及び保守運用を継続します。 ■事象別のマニュアルを作成し、日頃から研修や訓練を行い、体調不良の方や急病人に適切に対応します。 ■全スタッフの普通救命講習の受講完了し、今後も継続して対応します。	■事故などの原因となる現象や状況（ハザード）をまとめた、ハザードマップを作成しました。（毎年更新・継続） ■防犯カメラの設置箇所について、大倉精神文化研究所側歩道など、夜間の防犯にこだわり設置を考えました。 ■新型コロナウイルス感染予防対策も考え、手指消毒液を入り口2箇所に常設いたしました。 ■救急セットやAEDの配置及び保守運用を徹底し年1回の使用訓練を行いました。 ■事象別のマニュアルを作成するとともに、日頃から研修や訓練を行い、体調不良の方や急病人に適切に対応しました。 ■全スタッフが普通救命講習を受講しました。（AED講習） ■犯罪の起こりにくい施設環	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施

	■急な天気の流れや光化学スモッグの発生などを施設やWEBサイトで告知することを継続します。 ■犯罪の起こりにくい施設環境を整え、未然防止に努めます。 ■手指消毒液を設置し、インフルエンザ・ノロウイルス対策を継続して行います。 ■港北AAA防犯情報メールに登録完了し、継続的に運用します。 ■手洗い方法は、英語での案内も表示します。 ■トイレに手洗い方法の説明を掲示します。 □外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会：年2回 （2）利用料金の確実な管理 ■事務所に設置した警備会社が提供する入金機の運用を継続し、利用料金等の現金を適正・確実に管理します。 （3）利用者の安全・安心の確保 ■スタッフによる定時巡回を実施します。 ■スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築します。 ■現状の把握、危険箇所の抽出を行い、ハザードマップを作成します。	境を整える為、日に2回の外回り見回り、夜間見回り・注意をし、犯罪の未然防止に努めました。 ■手指消毒液を設置し、インフルエンザ・ノロウイルス対策・新型コロナ感染予防対策の徹底をいたしました。 ■トイレに手洗い方法の説明を掲示しました。 ■手洗い方法は、英語での案内も表示しました。 □外部委託スタッフを含む全スタッフへの研修および勉強会：年2回 ■港北区役所が発信する、地域で起きた犯罪情報の速報が届く「港北AAA（安全で安心な明日を）防犯情報メール」へ登録し継続運用しております ■事務所に、警備会社が提供する入金機を設置し、利用料金等の現金を適正・確実に管理致しました。運用継続しております。 ■スタッフによる定時巡回日に2回を励行しました。 ■スタッフ不在となる時間帯は機械警備を行い、24時間の警備体制を構築運輸継続しております。 ■現状の把握、危険箇所の抽出を行い、ハザードマップ	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 □年2回実施（9・3月） ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
--	--	---	--

	■ハザードマップによる 日々の巡回を行い、危険箇所については、内容により、行政機関を含め関係者と連携して改善を図ります。 (4) 全スタッフの統一された高レベルの巡回点検 ■毎日、開閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検を実施します。 □日常巡回点検：1日2回以上	を作成致しました。 ■ハザードマップによる日々の巡回を行い、危険箇所については、内容により、行政機関を含め関係者と連携して改善を図りました。(防犯カメラの設置追加も検討しました。 ■毎日、開閉館時にハザードマップを基に作成したチェックシートを用いて、施設内の巡回点検を実施しました。 □日常巡回点検：1日2回以上	□1日3回(開館時・10時・15時)実施
--	---	--	-----------------------------

④防災に対する取組

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
情報の一元管理と市・本部との情報共有体制の構築および、緊急時の速やかな対応と施設被害の最小化、迅速な利用再開への対応 積極的な人道的措置の実施、自発的な防災備蓄の整備や地域と連携した共同防災体制の構	緊急時対応体制の構築とマニュアルの整備 ■防火管理者を配置します。 ■防火計画書を作成し、消防署へ提出します。 ■横浜市防災計画に基づく対応マニュアルと連絡網を整備します。 ■連絡網は、市・区に提出します。 ■各関連機関の電話番号を事務所電話の短縮に登録・掲示します。 ■マニュアルと連絡網は、携帯用冊子にし、スタッフは常に携帯します。 ■大規模災害等が発生した場合は、行政機関と協力し、迅速な利用再開に努めます。 日常における防災対策の実施	■副館長の大野一を防火管理者として選任致しました。 ■消防計画を作成の上、港北消防署に提出済です。 ■緊急時対応マニュアル及び緊急連絡網を作成しスタッフ入れ替え等が発生した場合適宜見直しをしております。 ■連絡網は関係機関に4月提出済。 ■緊急連絡先については事務所内の電話に短縮登録致しました。 ■マニュアル・連絡網は当館スタッフ全員が携帯しており緊急時すぐ連絡ができる体制にしております。 ■災害発生時に適切に行動出来る様定期的(年2回)に訓練しております。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施2回

築 利用者の安全確保を最優先に考えた対応	■防災・防火訓練を実施します。 □消防・防火・防災訓練：年2回 ■災害用備蓄品を準備するとともに、リストを作って管理し、定期的に確認、備蓄を更新します。 緊急時のためのスタッフ確保 ■緊急時に迅速な現場対応ができるよう、近隣在住スタッフを確保します。 ■利用者に、避難導線をお伝えし、避難場所の指導を行います。 ■訓練により判明した課題をマニュアルに反映します。	■令和2年9月に防災訓練を実施(3月はコロナ感染予防対策の為4月に変更) □2回実施 ■災害用備蓄品を準備の上、リストで管理し随時確認、更新をしています。販売終了のため入手困難な材料等の情報共有にも使用しています。 ■館長以外・副館長をはじめ市内在住のスタッフが勤務しています。 ■利用代表者の方に避難経路を都度説明しています。 適宜、緊急時対応マニュアルを更新しています。	■計画変更実施 □計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
------------------------------------	--	---	--

⑤その他施設管理に関する事項

[取組内容]	[達成指標]	[実施内容]	[達成状況]
電気主任技術者による適切な設備管理	(1)当グループの電気主任技術者による維持管理 ■自家用電気工作物の保安、監督を実施します。 ■施設・設備維持管理の専門スタッフを配置します。 ■自家用電気工作物の工事、維持及び運用に関する保安監督業務を適正・的確に行います。 ■自家用電気工作物が、人体に危害を及ぼしたり物件に損傷を与えたりしないよう維持します。	■関東電気保安協会と契約の上、自家用電気工作物の保安・監督を委託しています ■電気工事士の有資格者を副館長として配置する他、西田装美より有資格者を派遣し設備の維持管理を行っています。 ■関東電気保安協会による保安監督の他、常駐設備管理員による日常点検を実施いたしました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施

(4) 収支について

①指定管理料のみに依存しない収入構造

[取組内容] 今年度は、現行料金を維持。他施設の状況調査および利用者の声を聴き、3年目以降の料金設定を検討 稼働率の向上と安定した収入確保を目指す	[達成指標] 安定した利用料金収入の確保 ■貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図ります。 ■定期的に利用者の声を聞き、その内容を可能な限り運営に反映することで、利便性の向上を図り、稼働率を向上させます。 ■利用者と連携し、CDや自作のアート作品を販売する「物販」も積極的に実施します。 ロケ・撮影利用の拡大 ■今まで以上に広報PRすることで、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保につなげます。 □メディア撮影・ロケ撮影協力：目標 年間35件 □フォトロケーション撮影協力：目標 年間2件	安定した利用料金収入の確保 ■貸出情報をWEBサイトやSNSで発信し、稼働率の向上を図りました。 ■定期的に利用者の声を聞き、当日追加予約にも柔軟に対応し、販売機会のロスを極力なくしました ロケ・撮影利用の拡大 ■広報PRにより、ロケや撮影の利用を増やし、収入確保に向け、利用履歴のある業者様への電話フォローと来館時の対応を行い件数確保を目指しました。	■計画実施 ■計画実施 ■横浜市との協議継続中 次年度より共催利用者を中心に提案継続 ■計画実施 □メディア撮影・ロケ撮影協力：年間45件 □フォトロケーション撮影協力：年間2件
--	---	---	---

②経費削減等効率的運営の努力

[取組内容] スタッフの効率的な運営によるコスト削減と施設の魅力や価値の広い発信による利用促進で収入増を図る	[達成指標] 効率的・効果的な維持管理運営によるコスト削減 ■スタッフの効果的な配置と変形労働時間制を採用した柔軟な出勤体制で、サービス水準を維持し、人員の効率化を達成します。 ■スタッフの定期巡回により、節電や空調管理を徹底します。 ■マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に寄与します。 ■横浜市の環境施策をしっかりと	効率的・効果的な維持管理運営によるコスト削減 ■スタッフの効果的な配置と変形労働時間制を採用した柔軟な出勤体制で、サービス水準を維持し、人員の効率化をはかりました。 ■スタッフの定期巡回による、節電や空調管理を徹底しました。 ■マルチジョブシステムを採用し、スタッフの効果的な配置と効率的な運用により、コスト削減に努めました。 ■横浜市の環境施策を理解し、	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
--	--	---	---

効率的な施設運営による経費縮減策の実施	り理解し、施設の目標を定めるとともに、WEBサイトや館内にも掲示します。 ■エネルギー管理を強化し、次年度以降の目標策定に役立っています。	施設の目標を定めるとともに、館内の掲示を通じて、施設利用の皆様への啓蒙に努めました。 ■エネルギー管理を強化し、目標設定に役立てました。	■計画実施
	光熱水費の削減努力 ■エネルギー管理・点検を強化します。	光熱水費の削減努力 ■エネルギー管理・点検を強化しました。	■計画実施
	■日々の節電・節水・空調温度設定管理、可能であれば設備運転時間の変更を実施します。	■日々の節電・節水・空調温度設定管理を徹底しました。また、電力業者を変更し、光熱費の削減に努めました。	■計画実施
	■スタッフ啓発による徹底管理など、運用改善型省エネルギー対策によって使用量減少を目指します。	■スタッフ啓発による徹底管理など、運用改善型省エネルギー対策によって使用量減少に努めました。	■計画実施
	■設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策（省エネルギー機器を更新導入）を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用量削減・コスト削減を目指します。 ■施設スタッフはもちろん、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼びかけます。	■設備の改善・修繕などの設備投資型省エネルギー対策（省エネルギー機器を更新導入）を可能な範囲で徐々に取り入れ、さらなる使用量削減・コスト削減に努めました。 ■施設スタッフだけでなく、各室やトイレにも節電や節水への協力を依頼する案内等を掲示し、利用者にも呼びかけました。	■計画実施

(5) PDCAサイクルの確実な運用について

[取組内容] ①日報及び月報の作成・管理	[達成指標] (1) 業務記録の整備 ■市と協議の上、日報および月報のフォーマットを作成し、日々業務の記録と管理を適正に行います。 (2) 業務内容の報告と共有 ■緊急を要するものや重要な件に関しては、迅速に市へ報告します。	(1) 業務記録の整備 ■市と協議の上、日報および月報のフォーマットを作成し、日々業務の記録と管理を適正に行いました。	■計画実施
		(2) 業務内容の報告と共有 ■緊急を要するものや重要な件に関しては、迅速に市へ報告しました。	■計画実施

	■日々の業務内容は、現場スタッフだけではなく、本部サポート部隊も内容を把握・共有します。	■日々の業務内容は、現場スタッフだけではなく、本部サポート部隊も内容を把握・共有しました。	■計画実施
②業務計画書及び業務報告書の作成・管理	(1) 業務計画書の確実な遂行 ■業務計画書に則り、計画的かつ確実に業務を遂行します。 ■実施した事業は報告書に記録し、管理します。 ■業務計画書と業務報告書は、適宜、市へ報告します。 ■本部サポート部隊による、PDCAサイクルを推進します。 (2) 利用者のニーズや声を反映した事業計画の策定 ■事業を進めていく中で、利用者の声を聴き取り、よりニーズを反映した事業計画に刷新していきます。	(1) 業務計画書の確実な遂行 ■業務計画書に則り、計画的かつ確実に業務を遂行しました。 ■実施した事業は報告書に記録し、管理しました。 ■業務計画書と業務報告書は、適宜、市へ報告しました。 ■本部サポート部隊によるPDCAサイクルを推進しました。 (2) 利用者のニーズや声を反映した事業計画の策定 ■事業を進めていく中で、利用者の声を聴き取り、よりニーズを反映した事業への刷新を進めました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
③業務評価（モニタリング、自己評価、第三者による評価の実施）	(1) 利用者や市民のご意見やご要望の集約 ■ご意見箱や利用者アンケート、電話等、いただいたすべてのご意見やご要望をデータで一元管理します。 ■いただいたご意見やご要望は、全スタッフと本部サポート部隊が共有します。 ■いただいたご意見やご要望は、市と共有します。 (2) セルフモニタリングの実施 ■現場スタッフおよび本部サポートによるセルフモニタリングを実施します。 ■セルフモニタリングの内容は、市と共有します。 (3) 執行状況確認会議の実施	(1) 利用者や市民のご意見やご要望の集約 ■ご意見箱や利用者アンケート、電話等、いただいたすべてのご意見やご要望のデータを専用フォルダで管理しました。 ■いただいたご意見やご要望は、全スタッフと本部サポート部隊が共有しました。 ■いただいたご意見やご要望は、市と共有しました。 (2) セルフモニタリングの実施 ■現場スタッフおよび本部サポートによるセルフモニタリングを実施しました。 ■セルフモニタリングの内容は、市と共有しました。 (3) 執行状況確認会議の実施	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施

	■執行状況について現場と本部が確認する「執行状況確認会議」を開催します。 □執行状況確認会議：月1回 （４）ご意見やご要望の施設運営への反映 ■いただいたご意見やご要望については、基準を設け、市と協議した上で、施設運営に反映させます。 ■反映した内容を広く公表し、さらにその内容についてのモニタリングを実施し、常にPDCAサイクルが適切に運用する環境を整備します。	■執行状況について現場と本部が確認する「執行状況確認会議」を開催しました。 □執行状況確認会議：月1回 （４）ご意見やご要望の施設運営への反映 ■いただいたご意見やご要望については基準を設け、市と協議した上で、施設運営に反映させました。 ■反映した内容を広く公表し、さらにその内容についてのモニタリングを実施し、常にPDCAサイクルが適切に運用する環境整備に努めました。	■計画実施 □月1回開催 ■計画実施 ■計画実施
--	---	--	--

（６） 留意事項

[取組内容] ①保険及び損害賠償の取扱い	[達成指標] 施設賠償責任保険への加入 ■利用者が安全・安心に利用できる施設であることを保証します。 □保険の適用事由となる事故が発生しないよう努めます。	施設賠償責任保険への加入 ■利用者が安全・安心に利用できる施設であることを保証しました。 □保険の適用事由となる事故の発生はありませんでした。	■計画実施 □適用なし
②関係法令等の遵守	適切な許認可及び届出等 ■観梅期など多くの来場者が見込まれる期間においては、飲食物の販売等が予想されるため、責任を持って届出等を行います。 ■共催事業も含めて、必要となる届出等についての的確に対処します。 ■市から目的外使用許可をいただき、利用者と連携し、CDや自作のアート作品を販売する「物販」も積極的に実施します。	適切な許認可及び届出等 ■観梅期など多くの来場者が見込まれる期間においては、飲食物の販売等が予想されるため、責任を持って届出等を行いました。 ■共催事業も含めて、必要となる届出等についての的確に対処しました。 ■市から目的外使用許可について、自動販売機設置等・携帯電話アンテナなど利用者の利便性を高めるため申請いたしました。。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施
③市及び関係機関等との連絡調整	協力・協調関係の構築 ■横浜市文化振興課、地域の市	協力・協調関係の構築 ■横浜市文化振興課、地域の市	■計画実施

	民団体、文化団体、区民活動支援センター、小中高等学校、商店街連合会、各関係機関等と定期的な情報交換を行い、協力・協調関係を築き、信頼関係を深め、地域との連携体制を確立します。 特に、財団法人大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所とは緊密な関係を築き、施設の運営に支障がないよう努めます。 ■関係機関の連絡網を整備 必要に応じて決定事項等を伝達する仕組みを構築します。 □財団法人大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所との連絡調整会議：毎月実施	民団体、文化団体、区民活動支援センター、小中高等学校、商店街連合会、各関係機関等と定期的な情報交換を行い、協力・協調関係を築き、信頼関係を深め、地域との連携体制を強化しました。 特に、財団法人大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所とは緊密な関係を築き、施設の運営に支障がないよう努めました。 ■関係機関の連絡網を整し、必要に応じて決定事項等を伝達する仕組みづくりを検討しました。 □財団法人大倉精神文化研究所及び北部公園緑地事務所との連絡調整を実施しました。	■計画実施 □毎月実施 年 12 回
④その他	(1) 近隣対策 ■撮影協力時に、騒音や撮影行為等によって施設利用者や近隣住民に迷惑が及ぶことがないよう努めます。 ■施設外観等を利用する撮影協力の際は、施設利用者及び近隣住民への事前説明を行います。 ■施設屋外や公園を使ったイベントや事業を行う際には、施設利用者及び近隣住民への事前説明を行います。 ■大倉山ミーティングにお声がけし、施設に対するご意見やご要望をお伺いします。 (2) 備品の管理 ■常に最新リストに更新して管理点検を実施します。	(1) 近隣対策 ■撮影協力時に、騒音や撮影行為等によって施設利用者や近隣住民に迷惑が及ぶことがないよう努めました。 ■施設外観等を利用する撮影協力の際は、施設利用者及び近隣住民への事前連絡を行いました。 ■施設屋外や公園を使ったイベントや事業を行う際には、施設利用者及び近隣住民への事前連絡を行いました。 ■大倉山ミーティングにお声がけし、施設に対するご意見やご要望をお伺いしました。 (2) 備品の管理 ■常に最新リストに更新して管理点検を実施しました。	■計画実施 ■計画実施 ■計画実施 ■計画実施

【別紙1】自主事業一覧

No	実施 時期	主催/ 共催	事業名	会場	事業内容	参加実績 数 (計画)	実施回数 (計画)
1	4月 ～	自主	季節のフラワー アレンジメント 教室	集会室	当グループから講師を招き、季節の植物を使った各種フラワーアレンジメント教室を開催。	100名 (60名)	5回 (6回)
2	4～ 7月	共催	大倉山講演会	ホール	大倉山精神文化研究所と共催で、大倉邦彦の功績や思想、社会貢献等、専門家による講演を行う。	40名 (320名)	1回 (4回)
3	4月 ～	主催	大倉山公園愛護 会の活動への協力	正面玄 関前	苗植え活動に参加するとともに、植物のお手入れ方法のアドバイスなどを行い、活動の発展に寄与。	55名 (50名)	4回 (4回)
					愛護会の活動参加者に花のタネを配布し、ご自宅や学校での栽培を通じて、植物を育てる楽しさを伝える。	60名 (150名)	2回 (1回)
4	4月 ～	主催	文化芸術活動団 体の施設 WEB サ イトでの紹介	WEB サ イト	WEBサイトで、文化芸術活動団体や若手アーティストの紹介やリンク貼り付けを行い、広く紹介。	3団体 (3団体以上)	常時 (常時)
5	4～ 7月	自主	第10回 大倉山記念館 「ワークショップ」(Artsワ orkshop)	集会室	当施設利用団体を講師に招き、初めて参加する方を対象にした、さまざまな体験教室を開催し、文化芸術に触れる機会と交流の場を提活動する文化団体の紹介の場を提供する。	63名 (15名)	6回 (6回)
6	7月	自主	大倉山記念館 「ワークショップ 発表会」	ホール	ワークショップ参加者に発表の場を設け、目標を設定し参加者の動機つけや意欲向上につなげ、施設のさらなる魅力や価値の向上を図る。	0名 (80名)	未開催 (1回)
7	5月 ～	自主	文化芸術活動の 支援講座	エント ランス ホー ル・休 憩ス ペー ス	これから文化活動を始めたいと考えている方に当施設や地域で活動する文化団体の紹介の場を提供する。	0名 (15名)	未開催 (5回)
8	5月 ～	自主	サークルラウン ジの開設	ロビー	ロビーや共有エリアを活用し、利用者・市民・アーティスト・地域の団体が交流できるスペースを提供。	未開催	未開催 (常時)
9	5月 ～	自主	5月～	自主	サークルラウンジの開設	未開催 (100名)	未開催 (12回)
10	5月	共催	第39回大倉山 ジョイフルコンサート	ホール・ 集会室	市民が音楽のある生活を楽しみ、若手演奏家が演奏に専念できる場を提供し、質の高い活気ある音楽文化の	0(80)名	未開催 (6)回
	7月	共催	第40回大倉山 ジョイフルコンサート			0(80)名	

	9月	共催	第41回大倉山 ジョイフルコンサート		発信地とすることを目的とする実行委員会形式の事業。	0(80)名	
	11月	共催	第42回大倉山 ジョイフルコンサート			0(80)名	
	1月	共催	第43回大倉山 ジョイフルコンサート			0(80)名	
	3月	共催	第44回大倉山 ジョイフルコンサート			0(80)名	
11	5月	共催	第36回大倉山こ どもフェスティ バル	ホール・ 集会室	地元の子どもたちを対象に 地域交流や遊びの場を提供 し、文化活動に触れる機会 を創出することを目的とし た実行委員会形式の事業。	未開催 (1000名)	未開催 (1回)
12	6月	自主	地域施設への出 張授業	港北区 内施設	坂の上の大倉山記念館まで お越しいただく事が難しい 方にも、文化芸術活動に触 れる機会を提供するため に、地域施設に出向き、歴 史や文化、芸術を紹介する 出張授業を行う。	未開催 (30名)	未開催 (1回)
13	6月 ～	自主	今昔建築講座	ホール・ギ ャラリー・ 回廊	大倉山精神文化研究所との 連携により、他の専門機関 にも協力を仰ぎ、歴史的建 造物や伝統ある建築物につ いての講習会を開催。建築 に詳しくない方でも気軽に 参加でき、楽しめる内容と することで、当施設を始め とする伝統的建築物の素晴 らしさを知っていただく企 画を提供。	未開催 (50名)	未開催 (2回)
14	6月	自主	大倉山ミーティ ング	集会室	市民、利用者、地域住民、 関係団体などを招き、利用 ルールや施設への要望およ び地域課題について意見交 換。また、今後予定してい る大倉山記念館サポーター ズや人材育成活動等の各種 施策についてのご意見やご 要望も伺い、施策に反映。	未開催 (10名)	未開催 (2回)
	12月						
15	6月		第9回国際学生 交流会（ハーバ ード）	ギャラリ ー・集会 室	日本文化の体験を通した日 米学生の交流会。市内の大 学生とハーバード大学の学 生が参加し、双方の文化を 通じた相互理解や文化交流 を目的とする。	未開催 (100名)	未開催 (1回)
16	7月	自主	ボランティア養 成講座検討会	集会室	運営サポーター制度の継 続・発展として、当館のボ ランティア育成にあたり、 現状や課題について話し合 う検討会を開催。参加 者は、既存サポーターや利 用者とし、その内容をボラ ンティア養成講座の構築に 役立。	未開催 (15名)	未開催 (1回)
17	4月	自主	室内楽シリーズ	ホール	港北区民交響楽団など、地 域で活動する音楽家による	オンライ ン(80名)	オンラ イン(1回)

	10 月	自主	室内楽シリーズ		室内楽コンサートを開催。		
18	8 月	共催	夏のオープンギャラリー	ギャラリー	(公財) 大倉精神文化研究所と共催で、オープンギャラリーを開催。記念館の紹介のほか、参加型・体験型のコーナーを併設し、夏休み時期の子供たちが地域の歴史や魅力に興味・関心を持ち、当館を知ってもらうことを目的とする。	5 2 5 名 (200 名)	1 回 (1 回)
19	8 月 ⇒ 7 月	自主	第 9 回白山高校美術コース作品展示会	ギャラリー	神奈川県立白山高等学校美術コース 2 年生作品展示会開催。生徒独自の活動として、キュレーター、広報、作品展示、記録、写真、引き継ぎなど様々な役割を分担し準備し、どの役割を担うかは、自らの進路や適性を加味し自分たちで選ぶ。	0 名 (250 名)	未開催 (1 回)
20	9 月 ～	自主	大倉山寄り道コンサート《大倉山サロン》	ホール等	ロビーや館内の共有スペースを活用した、どなたも気軽に参加できるコンサートを開催。	0 名 (200 名)	未開催 (4 回)
21	9 月	自主	地元若手アーティスト作品展示とワークショップ	集会室	伝統と歴史を大切にしながら、新しい大倉山ブランドを創造、発信し、新たなファン層を作る。	0 名 (3 0 名)	未開催 (1 回)
22	9 月	自主	オープンデイ * 寄道コンサート、おしえて！まちの先生を本事業と併催	全館	館内貸室を解放し見学いただくことで、文化財価値の PR やご利用の促進。また、共用スペースや集会室を活用しご利用をイメージし易くするために、どなたも気軽に参加できる各種講座・講習会を開催。コンサートはオンライン配信	1 1 8 名 配信 6 8 7 件 (1, 000 名)	1 回 (2 回)
	2 月	自主					
23	9 月 ～	自主	横浜市芸術文化教育プラットフォームへの参画	市内 小学校	アート NPO や芸術団体と連携し、学校、アーティスト、企業、地域住民、行政などがゆるやかに連携・協働し、子ども達が芸術に触れ合う場を提供。	1 6 8 名 (1 0 0 名)	6 回 (3 回)
24	10 月 ～	自主	他の文化施設などから出張授業を誘致	ホール	横浜市文化プログラムの「トリエンナーレ」に参画し、大倉山記念館を地域の文化ハブとして各文化拠点や文化施設、団体などつながり、他地域の活動・市内の先端的な活動地域に届ける。	0 名 (80 名)	未開催 (1 回)
25	10 月	自主	ICT を活用した地域回遊イベント	館内	地域や商店街のイベントと連携し、AR や SNS を活用した地域回遊性を高めるイベントを実施。	0 名 (50 名)	未開催 (1 回)

26	11 月	共催	第 36 回大倉山秋 の芸術祭	ホール・ギ ャラリー・ 集会室	記念館を利用する団体およ び関心を持つ市民の文化創 造を支援する目的をもっ て、全館で演示・展示部門 を設け広く公開することを 目的とした実行委員会形式 の事業。	2 1 1 7 名 (10000 名)	1 回 (1 回)
27	11 月 ～	自主	ハニーカフェ& マルシェ	館内・ 大倉山 公園	イベント開催時等に地域の 団体による軽食提供を行う カフェを開催。	0 名 (1 0 0 名)	未開催 (2 回)
28	12 月	自主	大 倉 山 記 念 館 「落語会」	ホール	日本の伝統芸能である落語 に親しむ機会を提供しま す。テーマは、老若男女が 楽しめるものとし、幅広い 年代の方の来館促進を図 る。	0 名 (80 名)	未開催 (1 回)
29	12 月	共催	第 36 回小さな丘 のメリークリ スマス	ホール・ギ ャラリー・ 集会室	地域の子ども達が気軽に文 化に触れる機会をという願 いから、地域の父母会が中 心となって廉価で楽しめる ことを目的とした実行委員 会形式の事業。	0 名 (800 名)	未開催 (1 回)
30	12 ～ 1 月	自主	イルミネーショ ン&ライトアッ プ	正面 入口	若年層や新規利用団体の利 用・来館促進と認知度アッ プを図る。	外部施工 のためカ ウントし ておりま せん (1,000 名)	1 回 (1 回)
31	1 月 ⇒ 2 月	自主	第 10 回おしえ て！まちの先生	ホール・ギ ャラリー・ 集会室	港北区との連携による、「ま ちの先生」制度を活用した 体験講座。まちの先生同士 の交流の場として、「まちの 先生- 展示会」も開催。「ま ちの先生」制度と当館の P R のために、気軽にできる 文化活動体験の機会を提 供。	0 名 (100 名)	未開催 (1 回)
32	1 月	自主	第 9 回大倉山記 念館・高校生ギ ャラリー&交流会&ミ ュージックフェ スタ	ギ ャラ リー・集 会 室	出展高校の生徒による、ホ ールおよびギャラリーを活 用した作品の発表会・展示 会を開催するとともに、生 徒や関係者の交流を促進。 さらに、音楽系生徒の発表 の場として、ミュージック フェスタも同時開催。	0 名 (200 名)	未開催 (1 回)
33	2 ～ 3 月	自主	第 13 回大倉山 スプリングジャ ズフェスタ	ホール	平成 19 年度から実施され、 地域の皆様から支持を得て いる事業を引き続き開催。	4 3 名 (80 名)	2 回 公 演 (1 回)
34	2 ～ 3 月	自主	観梅会開催時等 の館内装飾	施設 入口等	観梅会開催時等に館内で梅 装飾を行う。	カウントし ておりま せん (300 名)	1 回 (1 回)
35	2 ～ 3 月	共催	大倉山スタンプ ラリー	当館周 辺	観梅会もしくは桜まつり開 催時に、当館を含む地域の 名所を巡るスタンプラリー を実施。	0 名 (1 0 0 名)	(1 回)
36	3 月	共催	第 14 回大倉山ド キュメンタリー	ホール・集 会室	良質なドキュメンタリー映 画（6～8 本程度）をホー	0 人 (400 名)	未開催 (1 回)

			映画祭		ルで上映すると共に映画監督によるトークショーやカフェ等で構成する実行委員会形式の事業。		
37	3月	自主	大倉山記念館 花めぐり	館内・ 周辺地 域	当館の館内ツアーをはじめ、大倉山公園や近隣の花をめぐりながら、地域の魅力を再発見する。	0名 (30名)	未開催 (1回)
38	2月	共催	のんびるフェスタ	全館	歴史的建造物で市指定有形文化財でもある当施設を会場とした、親子向けの全館貸し切りワークショッププログラム。子供たちへ古き良きものを残していくことの大切さや地域の交流の楽しさを伝える機会を提供	0名 (200名)	未開催 (1回)

【別紙 2】

利用料金

区分 種別		午前 (9 時～12 時)		午後 (13 時～17 時)		夜間 (18 時～22 時)		一日 (9 時～22 時)	
		平日	土日・休日	平日	土日・休日	平日	土日・休日	平日	土日・休日
ホール	入場料なし	700	700	2,000	2,000	2,300	2,300	5,000	5,000
	入場料あり	1,400	1,400	4,000	4,000	4,600	4,600	10,000	10,000
ギャラ リー	入場料なし	—	—	—	—	—	—	4,000	4,000
	入場料あり	—	—	—	—	—	—	8,000	8,000
第 1 集会室	入場料なし	600	600	800	800	1,000	1,000	2,400	2,400
	入場料あり	1,200	1,200	1,600	1,600	2,000	2,000	4,800	4,800
第 2 集会室	入場料なし	300	300	400	400	600	600	1,300	1,300
	入場料あり	600	600	800	800	1,200	1,200	2,600	2,600
第 3 集会室	入場料なし	300	300	400	400	600	600	1,300	1,300
	入場料あり	600	600	800	800	1,200	1,200	2,600	2,600
第 4 集会室	入場料なし	600	600	800	800	1,000	1,000	2,400	2,400
	入場料あり	1,200	1,200	1,600	1,600	2,000	2,000	4,800	4,800
第 5 集会室	入場料なし	1,000	1,000	1,300	1,300	1,500	1,500	3,800	3,800
	入場料あり	2,000	2,000	2,600	2,600	3,000	3,000	7,600	7,600
第 6 集会室	入場料なし	1,000	1,000	1,300	1,300	1,500	1,500	3,800	3,800
	入場料あり	2,000	2,000	2,600	2,600	3,000	3,000	7,600	7,600
第 7 集会室	入場料なし	400	400	500	500	700	700	1,600	1,600
	入場料あり	800	800	1,000	1,000	1,400	1,400	3,200	3,200
第 8 集会室	入場料なし	300	300	400	400	600	600	1,300	1,300
	入場料あり	600	600	800	800	1,200	1,200	2,600	2,600
第 9 集会室	入場料なし	300	300	400	400	600	600	1,300	1,300
	入場料あり	600	600	800	800	1,200	1,200	2,600	2,600
第 10 集会室	入場料なし	800	800	1,000	1,000	1,200	1,200	3,000	3,000
	入場料あり	1,600	1,600	2,000	2,000	2,400	2,400	6,000	6,000

令和２年度 「横浜市大倉山記念館」 収支予算書及び報告書

収入の部							(税込、単位：円)
科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
	指定管理料	25,070,000		25,070,000	25,070,000	0	横浜市より
	利用料金収入	13,210,750		13,210,750	7,464,550	5,746,200	コロナ感染予防対策に伴うキャンセル・閉館により大幅減
	横浜市による運営支援（休館期間等）	0		0	991,000	991,000	休館期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
	横浜市による運営支援（利用再開後の期間等）	0		0	3,537,000	3,537,000	利用再開後の期間等における新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた横浜市による運営支援
	自主事業収入	1,060,000		1,060,000	472,000	588,000	コロナ感染予防対策に伴うキャンセル・閉館により大幅減
	雑入	6,401,718	0	6,401,718	2,578,810	3,822,908	コロナ感染予防対策に伴う閉館等により大幅減
	印刷代	70,000		70,000	27,600	42,400	コロナ感染予防対策に伴う閉館等による利用者減に伴う大幅減
	自動販売機手数料	414,718		414,718	276,810	137,908	コロナ感染予防対策に伴い観梅会などが中止となり来館者減により飲料販売が減
	その他（撮影）	5,917,000		5,917,000	2,274,400	3,642,600	コロナ感染予防対策に伴い閉館期間の撮影ができず、その後もドラマ等の撮影が入らず大幅減
収入合計		45,742,468	0	45,742,468	40,113,360	5,629,108	
支出の部							
科目		当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費		23,515,311	0	23,515,311	20,553,267	2,962,044	
	給与・賃金	18,368,886		18,368,886	17,389,114	979,772	日比谷・西田人件費。館長交代・人員構成見直し・コロナの為閉館を早めるなどの要因で削減
	社会保険料	3,098,841		3,098,841	1,626,779	1,472,062	
	通勤手当	1,409,484		1,409,484	1,228,233	181,251	日比谷+西田通勤費
	健康診断費	90,000		90,000	90,000	0	
	勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
	退職給付引当金繰入額	548,100		548,100	219,141	328,959	
事務費		2,515,254	0	2,515,254	1,413,266	1,101,988	
	旅費	60,000		60,000	85,441	25,441	
	消耗品費	96,000		96,000	598,621	502,621	施設老朽化に伴い増額
	会議賄い費	36,000		36,000	23,737	12,263	
	印刷製本費	600,000		600,000	0	600,000	
	通信費	437,760		437,760	372,330	65,430	日比谷+西田通信費
	使用料及び賃借料	96,000		96,000	94,321	1,679	
	横浜市への支払分	74,400		74,400	67,637	6,763	目的外使用料
	その他	21,600		21,600	26,684	5,084	運搬費・仕入運搬費・減価償却・ソフトウェア償却-精神分文化水光熱入金
	備品購入費	120,000		120,000	80,750	39,250	コロナ対策 除菌アルコール購入代金
	図書購入費	120,000		120,000	910	119,090	
	施設賠償責任保険	34,870		34,870	13,479	21,391	
	職員等研修費	54,000		54,000	13,637	40,363	
	振込手数料	0		0	0	0	
	リース料	825,624		825,624	75,540	750,084	
	手数料	0		0	4,500	4,500	
	地域協力費	35,000		35,000	50,000	15,000	横浜歴史資産調査会・大倉山公園愛護会
事業費		2,512,000	0	2,512,000	1,736,093	775,907	
	自主事業費	2,512,000	0	2,512,000	1,736,093	775,907	自主事業（アレンジ講習会等）開催見送りによる削減
管理費		12,352,354	0	12,352,354	10,191,100	2,161,254	駐車場保全費の圧縮。
	光熱水費	5,022,669		5,022,669	3,507,875	1,514,794	
	電気料金	4,642,971		4,642,971	3,380,426	1,262,545	閉館などに伴う減額
	ガス料金	0		0		0	
	水道料金	379,698		379,698	127,449	252,249	閉館などに伴う減額
	清掃費	1,680,000		1,680,000	2,660,000	980,000	
	修繕費	1,500,000		1,500,000	1,054,014	445,986	指定管理者内の協力により圧縮
	機械警備費	699,840		699,840	420,000	279,840	
	設備保全費	3,426,400		3,426,400	1,995,211	1,431,189	
	空調衛生設備保守	520,000		520,000	436,400	83,600	
	消防設備保守	470,000		470,000	350,000	120,000	
	電気設備保守	600,000		600,000	275,580	324,420	
	害虫駆除清掃保守	86,400		86,400	80,000	6,400	
	駐車場設備保全費	0		0		0	駐車場保全費の圧縮。
	その他保全費	1,750,000		1,750,000	853,231	896,769	
	共益費	23,445		23,445	554,000	530,555	入金機費
公租公課		2,047,549	0	2,047,549	3,389,373	1,341,824	
	事業所税			0		0	
	消費税	2,043,549		2,043,549	3,389,373	1,345,824	
	印紙税	0		0		0	
	その他（）	4,000		4,000		4,000	
事務経費（計算根拠を説明欄に記載）		2,800,000	0	2,800,000	2,800,000	0	
	本部分	2,700,000		2,700,000	2,700,000	0	
	当該施設分	100,000		100,000	100,000	0	
支出合計		45,742,468	0	45,742,468	40,083,099	5,659,369	
差引		0	0	0	30,261	30,261	